(一)號六百六千三第　明治三十九年八月十日第三種郵便物認可　THE KEIJO NIPPO　大正七年四月三十日　(年中無休刊)

京城日報

二十九日夕刊
(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金五錢 ▲一ヶ月金[illegible] 廣告料金 ▲七號活字一行[illegible]
發行兼編輯人 奥山直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

○獨軍ケメル占領 全戰線大激戰繼續

ドラヌートルよりイープルコンミューン運河に至る全戰線に亙りて激戰繼續す敵はドラヌートル、ケメル高地及びケメル村落を占領せり此の攻擊は優良なる九箇師團の兵を以て行はれたり(倫敦電報)

○艦隊立退命令風說 浦塩動搖、不穩行爲計畫

浦塩の過激派は總會を開き五月十七日を以て盛大なる行列を行ひ夜間は滿燈飾を施し日本、支那、朝鮮の勞働者に對し各國語を以て記したる檄文を配布し又外國艦隊に對し此日を以て立退きを命ず可しとの風說あり尙過激派占領後の市中は動搖を極め主なる官吏の辭職するもの頻々たり(浦塩電報)

○ペ市危殆と防備準備

芬蘭の白色近衞軍廿四日ウイボルグを占領するやペトログラードは危險を感ずるに至りたるを以て勞農政府の驚愕一方ならず直に最高軍事會議を開きたるが其の結果防備の任に當るべきシユワールツ將軍は防禦準備整ひたるも危險なりと明言せり(哈爾賓特電)

○露國對四國抗議

勞農政府は日、英、佛、米に對し露國內政干涉に就て强硬なる抗議を爲せり(哈爾賓特電)

○勞農政府の抗議

勞農政府は在莫斯科日英佛米の代表者に對し西伯利に於ける領事團等が勞農政府に反抗せんとする革命團に關係し居るは爭ふべからざる事實なりとして其不法を責め如斯領事は直に本國に召喚せられたしと抗議を申し込みたり(哈爾賓特電)

○漢口會議結果 湖南々部湖北西部より南軍一掃

漢口會議の結果湖南南部湖北西部より南軍を一掃し終る迄戰爭を繼續し南軍がそれにて和を申し出でなば是れに應ず可きも尙抵抗すれば兩廣及び四川迄兵を進む可く湖南々部にては從前の如く曹錕、張懷芝、張敬堯の三名共同して作戰に當り湖北西部にては吳光新徐樹錚と共同作戰に當ることに決し新國會を期日通り召集する事不可能なるを以て現參議員をして國會の職務を代行せしむる事を要求せしめ參議員をして大總統を選擧せしむることゝしたるが段總理は大總統たるの野心無しとして辭退し大總統は依然馮國璋氏を推薦する事に申し合せたり(北京特電)

○東淸鐵道株主總會

廿七日露亞銀行にて露國公使出席の上東淸鐵道臨時株主總會を開き同鐵道役員を改選したるが總辦には郭宗熙氏鐵道長官にはホルワット將軍を選擧し以下役員に露人六名支那人一名を擧げたり今次北京にて株主會議を開きたるは千八百六十九年に制定せる同鐵道條例に基き露淸銀行が其大株主なるに依ると尙露國公使館側にては爾今新役員に依り充分自主的活動を爲し得可しと謂へり(北京特電)

○大阪滯貨漸減

鐵道輸送力增進の結果大阪驛の滯貨漸次減じつゝあり(大阪特電)

○唐紹儀氏西下

滯京中の唐紹儀氏は二十九日西下京阪を觀光し五月二日再び上京の筈なり(大阪特電)

○赤十字總會參列者

赤十字總會に參列すべき朝鮮よりの社員は廿九日朝來阪市內視察の上廿九日夜東上の筈なり(大阪特電)

○支那記者團歸國

支那記者團は廿九日夜神戶發歸國の途に就く筈(神戶電報)

東京より　在京一記者

外米管理問題

○我政府は米價調節の一方法として暴利取締又は投機取締の令を發し其の目的を達せむとするに汲々たりと雖も固より此等の方法手段のみを以て米價暴騰の大勢を制する能はず、國民生活の前途轉た寒心に堪へざるものあり、是に於て乎政府は外國米の輸入に由りて米の供給增加を圖るの外なきを認め最後の手段として臨時外米管理部を設置して外國米及び朝鮮臺灣米の賣買及び輸入者に對し補給を爲す事を得るに至りたるは政府近來の英斷にして吾人は大體に於て其の趣旨に贊せざるを得ざる也。

○外米管理の實行方法は未だ詳ならずと雖も政府者の說明に據れば政府は輸入外米管理の權を保有し實際着手せむとするものは先づ指定商人をして外米輸入の衝に當らしめ臨時事件費の內より支出して關稅、運賃等に基きて補助獎勵金を交附し政府に於て外米の價格を指定し尙ほ採算上輸入商人の不利益を釀す場合に於ては政府に於て其の損失を補償すべしと云ふ、此等の外米管理策が米價調節問題に對して果して如何なる效果を收むべき乎は今日に於て臆斷するを許さゞるものありと雖も、一面に於ては外米を廉價に販賣し得らるべきを以て緩和策の一として相應の效果を顯はすべきは吾人の確く信じて疑はざる所也。

○世上或は外米管理の前途に對し實際に於て所期の效果を收むべきや否やを危ぶむものなきにあらずと雖も今日我が國民の痛切に要求する問題は米價調節に在り苟も此の外米管理令の實施に由りて米價調節の目的が達せらるゝに於ては其の細目如何の如きは深く論ずる所にあらず。然れども假令ひ政府の目的は太だ美なりと雖も其の運用、實行宜きを得ざれば實際に於て其の豫期に反するのみならず却て米價調節の前途に於て惡影響を蒙らざるを得ざるべし。是れ吾人が政府者に向て切實なる注意を乞はむとする所也。

◉東宮御誕辰

四月二十九日は東宮殿下御誕辰に相當するを以て長谷川總督及び山縣政務總監は同日午前九時三十分濱尾東宮大夫に宛て左の如く祝電を發し執奏方を乞へり

謹で殿下の御誕辰を祝し奉る
右言上を乞ふ

◉總督邸晚餐會

旣報の如く長谷川總督は二十九日午後六時半より各道長官を官邸に招待して晚餐會を開きたるが入京中の永沼中將も列席せり

◉鮮銀小額券の回收 五月五日より實行、朝鮮內の小額券は漸次政府發行の小額紙幣に統一されん

昨年十一月中旬より朝鮮銀行本支店に於て朝鮮內に拂出しつゝある小額支拂手形(五十錢廿錢十錢の三種)は最近關係方面で商議の結果五月五日より本支店に於て回收すると同時に新たなる拂出しを行はず之れに代ゆるに旣に朝鮮內に散見する政府發行の小額紙幣を以てする事となり鮮銀にては目下その準備中なり

▼鮮內の拂出高 六十七萬圓　鮮銀當局者談

右に付朝鮮銀行當局者の談に曰く鮮銀で滿洲に發行權を有せる小額の五十錢二十錢十錢の手形を昨年十一月から朝鮮にも拂出しをしたのは一時▲便宜の處置であつた、乃ち朝鮮內に於ける銀行券發行の膨脹に補助貨の流通高が伴はず又補助貨不足の聲徒らに高くて實際所有してゐる者は出し惜しみをすると云ふ人もあり旁々著しい補助貨の缺乏を各地共感じたのである然も本金庫からは小額紙幣並に補助貨の廻送が殆んどない、稀に來ても燒石に水を注ぐやうなものである、乃で銀行は總督府當局とも協議の上印刷力の及ぶ限り手形の內地出しを行なひ▲補助貨難の緩和に努めたのである、然し此の小額手形は前に述べた如く全く臨機の方法で必らずしも適法の處置とは云へないのであるから、政府發行の小額紙幣並に補助貨が朝鮮の市場の需むる丈け本金庫より廻送さるれば當然回收すべき方針であつた、所で恰もよし本金庫の方に小額紙幣を朝鮮に多く廻送し得る餘裕を生じたらしく約四十五萬圓を一兩日中に到着するやう東京から發送したと云ふ通知に接したから各方面共協議の結果愈々來月五日より鮮銀小額手形は一切拂出さず回收一方とし之れに代ふるに▲政府發行の小額紙幣を以てする事とした、さて目下の所鮮內に幾許の鮮銀小額手形が出てゐるかと云ふに滿洲と交互流通の關係上正確には分らぬが大凡そ六十七萬圓內外と見るを當れりとすべく回收が頗る迅速に進めば四十五萬圓では不足な譯だが足らねば本金庫からは幾許でも廻送を受け得る事になつてゐる、尙ほ五月五日以後鮮銀手形の流通が禁止されるのでなく一般的に云へば鮮銀の手形が漸次影を滅し政府發行の小額紙幣と代つて行くのでつまり朝鮮內の小額券が政府の小額紙幣に統一されるのだから▲誤解なきを望む、尙ほ大部分の回收を終る迄には二三箇月乃至半年を要する事と思はれる。

◉道長官會議(第六日)

道長官會議第六日は二十九日午前九時より總督府第二會議室に於て山縣政務總監統裁の下に開會し總督の指示事項あり正午散會せり

◉京城府技師新設

二十五日附公布されし朝鮮總督府地方官々制改正の要點は書記の次に技手を加ふる事京城府に奏任技師を置く事府郡島に判任技手を置く事其他定員改正にて京城府技師は主として京城下水工事々務を掌するものなりと

◉鮮銀と發行稅

朝鮮銀行の銀行券發行に關する法律中限外發行高に對しては百分の五の發行稅を國庫に納附することゝなれるに付客年十二月一日同行が滿洲に於て橫濱正金銀行の業務を引繼ぐや俄に發行高の一大膨脹を示し爾來今回の銀行法改正を見たる四月二十日迄は依然として限外發行繼續せしが此間最も多かりしは昨年十二月二十九日の九百九十九萬七千圓を最高とし之に亞ぐは本年三月二十五日の九百九十八萬九千圓なりとす而して此間同行が銀行法に依り國庫に納附せる發行稅金額は十一萬七千三百八十五圓一錢に達せりと

◉銅貨四千圓來

十錢以上の補助貨は現在に於て殆んど不足の聲なきも十錢以下の五錢並に一錢銅貨缺乏の聲は甚だ高く或る地方にては商取引上に支障を釀へ居れりと云ふが最近本金庫より鮮銀內支金庫に對し四千圓發送の通知あり兩三日中着貨せば直ちに各店に分送の筈なりと

◉鑛業金融皮切 十五萬圓の授受終了

旣報せし如く東拓支店金融部と鑛業家との間に交涉中なりし黑鉛鑛區器械等を擔保とする鑛業資金十五萬圓は諸手續き終了せしに付二十七日東拓支店に於て會社と某氏との間に現金の授受を終りたるが斯かる金融の申込は其後時々ある趣きなれど多くは試掘用のものに付會社は安んじて資金放下をなし得ずとの事なり

◆京都より(三)　金谷生

◆西京の春は昨今櫻花の花吹雪行樂の子女の洋傘に氣早の人の麥稈帽の裝ひもうれしく、それに節などの時節とも相成り申し候

◆十八日は朝より清水寺に參詣いはゆる清水の舞臺より下瞰すれば京都の街は華麗、霞晴れて見わかざれど音羽の瀧のあたり山櫻の花ホロ〳〵散る風情京都ならでは味はれ間敷景色にて候

◆昔しは祈願の爲め清水の舞臺から飛ぶ人もありしが當今は其樣な事は流行りませぬとのことに御座候松風や音羽の瀧も掌に掬びて喇嘛一行は山を下り更に三十三間堂に向ひ申し候、庭前久しぶりにて年嗣百穗菊伯に邂逅し堂內の國寶風神雷神等の彫刻も見物いたし候

◆更に天台宗の妙法院にては「バサラユゼイ」が喇嘛達にはこの「音」そのまゝにて了解能き頗る面白き事に感じ申し候

◆寺の數多き寶物中には豐公の遺物夥多あり就中朝鮮國王の寶冠など興味多く感じ申し候、次いで大書院の庭は伏見桃山古城の內庭に範りしもの茶道の人には垂涎三尺の築造と申すべく候

◆更に西本願寺にては佛教大學に至り講堂の佛前にて西藏の讀經いたし候ところ參拜の學生達も感服いたし候、然るに喇嘛の方にても學生の誦したる重誓偈の音に感じ入りわれ〳〵の方にも憶應讀み方ありと褒め申し且つ佛教の爲めにこれほど盛大なる大學まであるは心强しと喜び合ひ候

◆更に西本願寺の阿彌陀堂にては再び誦經を試み候、然るに茲に面白きは最初喇嘛達は日本の阿彌陀樣の立像なるを見て何れも彌勒なりと信じ居り候ところ蒙古の如く趺坐せざる阿彌陀(サンゼ、オバメ)もありと解りて急に敬虔の意を表したることにこれあり候

◆一行は黑書院にて武田管長代理の挨拶を受け更に白書院の鴻の間にて盛餐の饗應に預り申し候、席には京都各宗の管長代表者等數十名、建物は昔て豐公桃山御殿の一部に候へば感慨多きことに存じ申候

◆次いで東寺にては管長鎌田御師の挨拶あり一同弘法大師の寶物を拜觀の上御影堂に參り候ところ眞言の儀式は殊に喇嘛教と關係深き爲め充分の會得これありしやうに思はれ候

◆かくて高島屋吳服店にても一同の招聘をうけ夜は支那留學生一同の招待會に赴き盛んなる歡迎をうけ申し候、席上南方の廣東地方人の演說を吉林省出身の學生が滿洲語にて通譯せしはさすがに支那式なるを思はしめ候、蓋し喇嘛達は北京官話を解するも南方語を知らざるが爲めに御座候

◆次いで一行の各寺院にて拜觀せし寶物及びお土產の數々は到底列記するに堪へざる程の多數にこれあり各所の席上にて團上ログソン師及び釋默笑師の試みたる挨拶も頗る喝采を博し申し候、草々

◉酒精飲料輸送 但し哈爾賓行に限る

東淸鐵道は露國禁酒令の發布に關聯し客年四月二十一日以降酒精飲料(和酒ビール及び東淸鐵道の輸送許可書あるものを除く)の輸送引受を拒絕しゐたるも本月十七日より哈爾賓行きに限り輸送を取扱ふ事となりたる旨滿鐵京管局に通知ありたりと

◉露國行急行 運轉

東淸浦鹽滿洲里相互間急行列車は目下中止中なるが二十八日午後十時浦鹽發黑龍江鐵道經由露國方面行急行列車(食堂車並に寢臺裝置なき)を運轉の由にて尙此の急行列車は五月二日若くは五日更に運轉するやも知れざる旨滿鐵京城管理局に入電ありたり

◉橫斷航路用船 新造若くは傭船希望　原田朝郵會長談

朝鮮郵船會社受命の淸津敦賀間の日本海橫斷航路就航船は命令條件として▲二千噸級船となり居れるも朝鮮郵船に現在大型船の所有なきを以て止むを得ず平壤丸(一千二百餘噸)を就航せしめつゝあるが前日の貴紙に予の談として掲載されし如く米國に對する船腹供給並に船鐵交換の結果內地の船價並に傭船料奔騰し相當の二千噸級船を得んとせば二百萬圓を支出せざる可らず又同級の傭船をなすも一箇月八萬圓以上の傭船料支拂を要するに付同航路の運賃其他より觀てかゝる高値の船舶を使用しては會社の苦痛少なからざるも由來朝鮮郵船は▲朝鮮開發のために力の耐ふる限りの損失は常に犧牲に供するを辭せざる方針を以て經營しつゝあり唯予の買船傭船を唱ふるは前述の如き法外なる船價を拂ひて會社の基礎を動搖せしむる如き事は可及的避けたしと云ふにあるも然し今日內地造船所に於て新造の引受をなすものあらば相當の時機を見て大型船建造の契約をなすを怠らざるは勿論又適當の船舶を見出さば其間多大の損失を免れざれども傭船をなしても橫斷航路命令條件に反せざる船舶を傭ふる覺悟なり乍然右▲新船建造並に傭船をなすまでは現在の平壤丸を就航せしむるの外なし要するに新船建造買船傭船等の計畫を捨て橫斷航路に永き意味に於ける平壤丸就航を繼續せしめんとは勿論考へ居らず

◉公立學校園實習地

京畿道管內に於ける公立小學校、農業學校、簡易農業學校等公立學校に在る學校園實習地に就き昨年十一月末現在當局の調査に據れば公立小學校に於て合計面積一町九反二十一步を算し此の一學校平均六反七畝十步にして農業學校に在りては合計實習地面積二町六反七畝十步、簡易農業學校に在りては實習園面積合計三町四反三畝十六步にして一學校平均二反六畝十三步を算せるが其內譯左の如し

▲公立小學校 學校數三十九敎材園二反三畝餘、普通作物園一反二畝、畜九畝餘、特用作物園に至りては田四步、蔬菜園[illegible]て二反六畝六畝二十二步、果樹園二反九畝餘、桑園一反二畝餘、番[illegible]二反七畝餘共合計一町九反二十一步

▲公立農業學校 學校數一に對し普通作物園田に於て九反九畝畑に於て七反四畝特用作物園田に於て二反一畝二十五步畑に於て一畝、蔬菜園四反七畝畜産園二反二畝二十步其の他二畝二十步合計二町六反七畝十步

▲公立簡易農業學校 學校數十三に對し敎材園九畝十五步普通作物園田に於て四畝四步畑五反七畝二十七步特用作物園田一反二畝九步畑七畝十五步 蔬菜園に在りては六反十七步果樹園一反一畝桑園一町四畝十一步畜園一反八畝七步其他に於て一反一步合計三町四反三畝十六步を算せり

◉隊署長會議

京畿道警務部にては二十九日午前京城府內各警察署長並に憲兵分隊長を召集し恒例會議を開き一般事務の聯絡其他に關し打合せを爲したり

◉定州安東間臨貨列車運轉

滿鐵京城管理局にては來る五月一日より當分の內左記時刻に依り京義線定州安東間臨時貨物列車の運轉を爲すべし

定州發	後一時三十五分	安東著 後七時二十分
安東發	前六時三十五分	定州著 後零時卅一分

◉總督趙子爵訪問

長谷川總督は趙子爵病氣見舞の爲め二十八日本邸に訪問せり

◉立花中將動靜

第十九師團長立花中將は二十八日午後一時三十分新義州より平壤著三十日迄步兵七十七聯隊の檢閱を行ひ同日歸任すべしと

◉市川參謀長歸任

旅團長會議列席の爲め東上中の駐箚軍參謀長市川少將は五月二日歸任の豫定なり

◉道長官洗浦行

入京中の各道長官は卅日午前九時卅分南大門驛發列車にて京元線洗浦の牧羊支場を視察し卽日歸城すべし

◉支那記者團通過期

渡日中の支那記者團一行は五月三日釜山著歸國の途に就くべし

◉支那實業家一行

目下觀光中なりし支那實業家一行十九名は廿八日朝京城通過奉天に向へり

◉大原氏紐育著

鮮銀より紐育に出張を命ぜられたる同行大原胤夫氏は二十六日紐育に到着せる旨朝鮮銀行に入電ありたり

◉川上東拓理事消息

東上中の川上東拓理事の歸期は延引し居れるが來月匆々歸任の旨會社に通知ありたりと

◉三本武重氏退京

歸任の途入京中の滿鐵交通課長三本武重氏は二十九日夜南大門發歸任すべし

◉韓相龍氏出張

漢城銀行專務取締役韓相龍氏は五月一日より開始すべき同行釜山支店開業披露の爲め二十九日夜出發五月二日歸任すべし

◉學校設置認可

豫て認可申請中なりし全北[illegible]溪內面長溪里長溪公立普通學校設置の件は四月二十七日附を以て認可ありたり

人事

▲高田官吾氏(慶尙北道官房主事) 總督參列の爲め二十七日大邱より[illegible]
▲笹川男氏(專賣課[illegible]) [illegible]日附出府を命ぜらる
▲高橋亨氏(大邱高普校長) 京畿、忠南北道管內出張を命ぜらる
▲高野三郎氏(明稅留長) 廿九日朝孟中里より歸京
▲プリポチヤ氏(京城駐在白耳義領事) 廿九日[illegible]
▲カーチス氏(同米國領事) 同上

酒前茶後

◎久しく露獨戰線に蟠居し、其機の到るを待ちつゝありし[illegible]

◎獨逸は、何時の間にか、旣にセバストポールを占領せんとしつゝあるが如し[illegible]

◎[illegible]

十七回目の御誕辰を迎へられたる　皇太子裕仁親王殿下

祥雲御所を罩めて
十七回御誕辰當日の東宮殿下
―奉仕の諸官を召し盛大なる御祝宴後―
―各若宮殿下と共に餘興の相撲を台覽―

廿九日は皇太子裕仁親王殿下第十七回御誕辰祝日に就き殿下は午前六時御起床御學友を御相手に御苑の緑打煙ぶる芝生に出られ呼吸運動徒手體操を遊ばされ次いで近衛步兵大尉の御正裝に大勳位菊花大綬章其他御佩用午前九時御出門入江侍從長御陪乘公式鹵簿にて御參内　兩陛下に御對面御祝儀並に御祝品御下賜の御禮を言上　種々御物語の上十一時東宮御所に還啓あらせられたり、斯くて午後一時淳宮雍仁親王、高松宮宣仁親王、久邇宮邦彦王、北白川宮成久王、李王世子垠殿下は何れも東宮御所に參上御祝儀啓上遊ばされ松方內府、東郷御學問所總裁、波多野宮相以下文武の側近奉仕の諸官に酒饌を賜はり盛大なる御祝宴を開かせ給ひたるが午後一時半よりは各宮若宮殿下と御所內餘興場に成らせられ力士の土俵入數十番の勝負を御台覽あらせられたり（東京特電）

鹿兒島の歸化村（上）
捕虜となつた朝鮮人の子孫
島津家の厚い保護に依つて繁榮れた

左に掲ぐるは慶長年間朝鮮から移住した鹿兒島の歸化村の狀況である

前後二回の朝鮮征伐の際加藤、小西を始め出征の大名は朝鮮の文物工藝を移入すべく盛んに人材を連れ戻つた、島津義弘も又慶尚南道金海附近から

▼捕虜を携へ　歸つたが其當時男女六十餘名に過ぎなかつた歸化人も島津家の厚い保護に依つて其の所謂薩摩の化が行はれ三百年後の今日では幹は枝を生じ枝は葉を生じ子孫繁榮れて日置郡苗代川を始めとして肝屬郡鹿屋町中名同大始良村等に六百七八十戸約三千七八百名を數ふるに至つた其等

▼朝鮮人が齎　らした燒物は現今に於ては薩摩燒として鹿兒島に於いては唯一の特產品となり子孫の中には百萬以上の資產家を始めとして實業家としても軍人としても教育家としても相當の羽振りを利かして居るものが多く歸化村の社會的地位は益々向上して行くばかりである二三の成功者を擧ぐれば薩摩を姿と稱つた篠崎都香資氏は明治十三年から

▼上海に病院　を經營して既に百萬長者となり東郷壽勝氏（朴）は明治十二年より薩摩燒陶器製造業を營んで目下二十萬圓の資產を作り沈壽官氏は明治七年から陶器製造業に從事し、德望高く公共事業に貢獻する處多きに依つて藍綬章を授けられ山口成淳氏（伸）は滿蒙方面に於て目覺しい活動をなしつゝある其外文學士市來彥氏の父義馬氏は縣參事會員の要職にあつて

▼縣治に貢獻　し東郷壽勝氏の令息義德氏は瑞西公使館の書記官として令名あり陸海軍には平野少佐林少佐吉村少佐貴島少佐等凡役將校として郷關の誇りとされ山野田一成氏は西郷隆盛翁の幕下にあつて最も信任厚かつた山野田氏の養子となり現に鹿兒島市の市會議員に選ばれ雄辯を以て名を知られて居るなど歸化村

▼出身の成功　者は頗る多い而して此等先輩は歸化村と言ふ一つの城郭內に築かれた協同と和親の殿堂の中に養はれて來た愛鄕心は鐵よりも堅く寢寐の間も後進を引立てる事を忘れないだから村內の結合は非常に固くて水呑百姓までが我々は島津家から士分の待遇を受けた一族である他の平民村と同格に見られてはならないと言ふ

▼誇りと氣槪　をもつて互ひに勵まし勵まされつゝ村民の繁榮を計つてゐる（早川生）

◆寫眞說明　櫻島の熔岩を背景に歸化村の村民と九州視察團員（向つて後列右より）沈壽官、三人目朴出七、四人目山野田一成、六人目朴壽永、山野田氏の後に立てるが朴泰進氏にして其他は視察團中の尹致昊、鄭鎭俊、徐相夏の諸氏

日本には狂者が少い
全國狂人の數

此の程內務省で調査した全國の精神病者數は約六萬五千人となつてゐる、之を總人口の割合にすると千人に對して一人一分八厘の比である

▼西洋の學者　の調べた所に依れば人口百人に就き一人或は千人に就いて二人乃至三人の精神病者があるといふから、西洋に比較すれば日本の精神病者は少いわけだ、精神病者は

▼文明の進步　に伴つて殖ゑるのだといふ、而して全國中最も精神病者の多いのは東京府の四千四百五十人が筆頭であると、之は他府縣からの在院患者が多い爲めであらう、而して總

▼人口の割合　から見れば滋賀縣が一番多くなつてゐる、其の病名としては興奮性、沈鬱性、忘想性、痴呆性、白痴性といふ分類で其の內十五才未滿の男女には

▼痴呆と白痴　とが非常に多く一般を通じては興奮性と沈鬱性とが最も多いが年齡から見れば、旺盛な二十五歳から四十歳迄の者が多數を占めてゐる

▼殊に注意す　べきは中等學校の生徒の中途退學してゐるのは神經衰弱と肺結核とが大部分であるのは憂ふべき事實で何れも精神に異狀を來し易い原因となつてる

即死卅名
永津炭坑爆發

福岡縣遠賀郡永津村大正鑛業會社經營に係る永津炭坑二十七日朝爆發し從業中の工夫數百名中即死二十名負傷二十名行方不明二十二名を出せり（福岡電報）

全鮮圍碁大會
◇若葉薫る五月中旬頃を期して◇
主催　京城日報社
◇會場、其他は追て報道すべし◇

面事務所燒く
豚十三頭燒死

二十七日午前十時頃黃海道新溪郡沙芝面沙伊谷里憲兵駐在所附近の民家より發火して面事務所を初め民家十三戶を全燒して鎭火し豚十三頭燒死したるも人命には異狀なく損害約二千圓の見込みなる旨黃海道警務部長より警務總監部に電報ありたり

家と共に燒死
江原道旌善郡西面橘岩里農劉昭元方より十八日午後五時卅分頃發火し同家を全燒せるのみにて同六時鎭火せり損害約四十圓昭元妻鄭氏園（四〇）は家具搬出中火焰に包まれて逃路を失ひ遂に無慘の燒死をなすに至り外に男兒一名も火傷せり

自動車自轉車を跳飛ばす
店員一時人事不省となる

二十八日午後六時四十分頃京城本町一丁目京城府廳角の街路にて自己の乘れる自轉車が自動車に衝突して打仆れ人事不省に陷りたる者あり取り調べの結果同人は明治町二丁目木村パン屋の店員秋本某（一六）と言ひパンを入れある大風呂敷を背負ひ自轉車にて旭町二丁目より本町角迄疾走し來れる刹那に朝鮮銀行所有の自動車に運轉手神出直次（三〇）が乘り込みて運轉し居りたる機に秋本は大地に轉倒し頭部を强打し兩脚に擦過傷を負ひ一時人事不省に陷りたるも應急手當を加へて蘇生せしが全治迄に一週間を要すべしと

腦脊髓膜炎
大阪市を襲ふ

目下大阪府下に流行の腦脊髓膜炎罹病者患者は百四十五名に達せるが遂に市內中央部にも一名同症患者發生せり（大阪特電）

電車の事故
京城の電車は近來事故頻りなるが二十七日午後一時頃黃金町四百八十二番地先にて電線切斷の爲め電車不通となり午後十一時漸く復舊せり又同日午後十時半頃鍾路五丁目にて是れも電線切れて電車不通となりしが間もなく開通又廿八日午後九時頃竹添町三丁目にて百八號電車脫線し十時十八分復舊せり

□今年の夏帽子
鍔は昨年より稍廣く　外國物よりは內地製

京城の夏は帽子から始まると云つて好い程早く、夏帽子はもう姿を見せて居る、二十八日の日曜の午すぎ洞には大分輕快な夏帽子が見られてゐた、近年帽子に關する種々の知識は當に

▼一時的　の流行に眩られる許りでなく、個人が夫々の特徵に對し、適不適を考へる樣になつて來た、本年流行の夏帽子を本町通りの帽子店に就て聞くと種類は麥藁、パナマ、鳥打、ヘルメット及び略帽等で變つたものはないが一般に價格は昨年より約

▼二割高　である、需要の最も多いのは麥藁で、一文字型が一般向きのものである、鍔は昨年より稍廣目で二吋八分の一から、八分の三位、山は依然三吋四分の一位のものが多く、リボンも黑一方で幅は昨年と同じである、値段は粗製で一圓六十五錢から四五圓の上物迄あり舶來となると六圓十位のものもある次は

▼パナマ　の節であるが外國製と稱するものは南米產英國製のもので、鍔が稍や廣い許り、他は昨年の型と同じで價格は十八圓五十錢位から四十圓位迄、和製の帝國パナマは紙製のものも驅逐し盡して內地製の全權を握つてゐるが、之は編方も外國物に比して極めて精巧で

▼洗濯も　利くし、價も八圓五十錢位から十六圓五十錢迄の中庸を得て居るので、紳士向きとしての需要は多からうとの事、鳥打は新型とも言ふ可きは天井一枚布、大型のもので値段は二圓五十錢から四五圓止まり、略帽も新型のものは鍔が並行して端の取つてあるものが喜ばれてゐるが、價は三圓五十錢見當から六圓位迄近來

▼乘馬の　旺になるにつれてヘルメット帽の需要も多いとの事、價は三圓二十錢位から七圓位迄の諸種がある

讀者文藝
（一等には五十錢の（？）品を呈す）

◀川柳『雪駄』

（一等）ゴム裏は金の切れ目を見分けかね　仁川市外龍岡里　桑野龍廼舍
雪駄の輕く引きずられ　利川　沂光
目が覺める頃は雪駄の金もなし　龍山　多美郎
金棒と雪駄が花をあびてゆき　京城　角黑坊
雪駄の音聞き分ける樣になり　仁川　詩硯坊
［illegible］く穴があき　龍山　鳥石
［illegible］のちびるまで　清州　一笑子
花を見る度に雪駄の毛が止み　寧邊　戀扇子

灯ともし頃
▲二十八日の日曜は京城の人は花に浮かれて獸物の［illegible］は野に溢れ山に滿ちたが其の折も折▲南大門通りの商業銀行では椅子机が流れ出す程の大水に大騷ぎとなり行員の非常召集を行つた▲今日こそは少く花の最後の日曜そこで誰れも彼れも早朝から花見仕度をして居た最中の事とて其の騷ぎ一方ならず▲早速馳けつけて見ると階下の事務室は乳なす許りに水を湛へ二階からは瀧の如く水が落下して▲まるで活動寫眞でも見るやうな光景を呈して居たので吃驚仰天直ちに扉を開いたり床板を外したりして排水したが一時は仲々の騷ぎであつた▲原因は斷水中二階の朝鮮のボーイが給水栓を捻ぢ明けたまゝにして置いたゝめ通水してからごしく流れ出し遂ひに此の始末に及んだと判つたが▲此前は二階に火事が起り運惡く火責め水責めとは此事ならんと［illegible］で苦笑したが▲斷水の折の放水のまゝにして置くなどは市民の迷惑も甚しい折角の花見を台にされた行員は不平滿々であつた

商況

兵庫期米
二十九日前場　寄付　二十六圓五十一錢　二引　五十六錢

東京期米特電
二十九日（前場）　二十六圓五十三錢　引　六十錢

大阪三品特電
二十九日前場
五月限	三〇一、〇五
六月限	三〇四、五〇
七月限	三〇九、一〇
八月限	三〇九、五〇
九月限	三〇七、〇〇

大阪期米特電
二十九日前場
當限寄付	二六、四一
中限寄付	二六、四一
二節	二六、四〇
三節	二六、二〇
四節	二六、四〇

雜報

綿糸又不勢
大阪三品は休日明け又不勢にて先三百〇九圓十錢となり前日より十圓內外の安値を見じ綿布龍ン三銘は十四十五錢（？）

安値十圓內外　先物十圓〇五錢
之又再び氣崩れたり

鮮米管理除外
外米管理令の條項中には鮮產米も加はりしが如く傳へられしが鮮產米は此規程中に加はり居らず今回の管理令は全然鮮內を除外されあるものにして元より公定價格による低廉なる外米の鮮內輸入も望み難く今後外米の影響は內地米價に對し如何なる程度迄反響を及ぼすかは公定價格と輸入數量に俟つの外なく近來活生程度の向上せる內地として果して豫期の如く效果を上に擧げ得るや否や之又疑問なれば今日にては只政府今後の行政を傍觀するの外なきもの如く米界の人氣は頽いて氣迷ひ氣味なるが若し又、現管理令にて尚其實效なきものとせば政府に於て更に之が範圍を擴張し低廉なる鮮米を內地に移入し之に替ふるに一段格安なる外米を鮮內に供給し且つ粗食に馴れし鮮人に對して格安なる雜穀の代用奬勵を計り飽迄調節實效を期するや測り難し兎も角格安外米の鮮內輸入の出來得べからざる今日にあつては鮮米の管理除は當然なるべし

錫は頗打商狀
錫は產地又何れも高値にて標準物は又々二圓高の一號物二百十八圓を呼ぶに至れるが內地市場は益々買手筋の氣遲れを誘致しあなぐりの姿にて頗る閑散なり▲鉛は引續き弱硬の成行を辿れるも花符相當あるより依然落付を示し居れり而鉛は昨今各山元よりの出荷日に盛んにて辛くも現狀維持の姿に在りアンチモニーには一向捗々しき取引なく鈍狀也

支那粟下押し
支那粟は產地先物安と不買行きに大掛に氣配更に下押し傾向さなり市中見當は海上物十四圓十錢運賃を前十三圓八十錢四平街十三圓四十錢（？）報後

二十錢方下落

下關相場
▲朝鮮米は保合　其後白米五百叺の輸入ありしが別に買ひ急ぎ物あらずして人氣惡しからず然れども期米の不勢と元來割高な狀に自然買人の高値は眾まざるに依り市況引立たず一等白米二百叺許りは稅關渡しとして二十七圓八十錢に手合せ行はれたり▲小豆は變らず　本品は別に安き賣り物あらずと雖も何分內の當用口への賣れ行きに過ぎずして市況引立たず▲大豆は矢張不味　其後元山肉三百五十叺雄基產五百叺鳥致院產二百十四叺鐵原產二百九十八叺等の輸入ありしのみならず產地の如き光州區々の情報にありて只管氣迷ひ風情にあるも依然賣れ行きの鈍なる爲め矢張市況面白からず鳥山物百叺口は十九圓三十錢に手合せ行はれ其他の出來值は左の如し

南大門の廻穀
▲朝鮮一等白米　二十八圓十錢
▲同（當用）　二十八圓三十錢
▲水原大豆　十九圓三十錢
▲金堤大豆　十九圓三十錢
▲元山大豆　十九圓七十錢
▲鳥山大豆　十九圓三十錢
水原粗　一二五叺　金村粗　二七叺
汶山玄米　四〇叺　金村白米　三叺
水原粗　七八叺　平壤胡麻　二〇叺
水原粗　一一〇叺　平澤黍　三一叺
小浦胡麻　二〇叺　仁川黍麥三七二叺
平澤玄米　二〇五叺　平壤雜粗　一八叺
一山白米　一五叺　汶山碎米　一叺
新義州碎米　二七叺　黃州小豆　三叺
小澤玄米　八三叺　一山白米　一六叺
平澤白米　二叺　全義粗　三八叺
大安白米　六三叺　車退館　二六叺
小井里粗　三三叺

仁川正米
▲粗の入津兎角にあり相場は變らず弱保合を唱へ居れり▲玄米依然見送り狀態にて別段變る模樣なきも商談一行行はれず

天一昨止より　五錢高の入電
（詳細略不能讀）[illegible]

先二十二圓〇　二錢と一錢高に寄付

依然保合の裡

新動機俟

中先の鞘縮少　十錢內外

仁川米豆取引所
二十九日の六月限
寄付	二十二圓〆三錢
高値	二十二圓〆五錢
安値	二十二圓〆八錢
止	二十二圓〆二錢
出來	[illegible]

節	值
一節	二十二圓〆四錢
二節	二十二圓〆六錢
三節	二十二圓〆八錢
四節	二十二圓〆七錢
五節	二十二圓〆六錢

限月	買	賣
四月限	一萬三千五百石	一萬三千五十石
五月限	二萬五千四百石	二萬五千七百石
六月限	三萬七千五百石	三萬七千五十石

日後場　前日と比較
四月限	一九安
五月限	一九安
六月限	三九安

北濱たより
［illegible］

新甫後の株式
休日前の前場商勢は前日に反して好況を呈するに至れるが兎に角新甫發會に對する强弱の見解も自から區々其見る所を異にするもの、如きも現在賭株の法外なる安値に安込まれつゝあるは最大原因たる戰況案じの壓迫に外ならず最近の狀勢は旣に戰報に多くの影響を及ぼさざるのみならず最近の狀勢小康を告げつゝあるものとせば長期間に亘り賣過ぎたる反動當然ならずと見越せる買物尠なからず受渡の無事を［illegible］

當限受渡高
一萬三千〇五十石にして値段二十二圓丁度受渡し內容左の如し
	渡し方	受取方
因	一萬二千五	五千石
全	百五十石	三千五十石
公	五百石	二千二百石
		千四百石
		千石
		三百石

當月限受渡し
文官米［illegible］

波瀾重疊を極む

二十九錢切
に過ぎざるも政府の調節ありて一面時局問題ありたる等

値巾一圓

當限納會す
（二月一日）

市場雜觀
▲一昨後場は大阪前止四十錢東京十八錢兵庫五十二錢後寄大阪三十九錢東京六十錢兵庫四十六錢の入電にて當地二十二圓〇五錢と六錢安に寄付きたるも買物多く七錢に返したるが戾りは又賣物多く押し大阪二節三十八錢三節四十錢東京五十一錢兵庫四十八錢の入電に七錢と返したるも投げに新規に賣物多く遂に二十二圓丁度と五落し〇三錢と返し〇一錢と散會出來不申中二十一圓九十錢▲大阪は段變らざるも東京安は又復賣方に對し警告を發したりとの說あると一面正米界の情勢は表面保合を唱へ居るも思惑筋の買人あらば買ひさするの態度にあるより更に氣配は軟弱ならしむる者ある等にて買物多く存外不勢の成行を示したり▲市場は相場の變動に連れ各店共大商內にて立會毎に盛況を呈したる向の調節策にて

正米界に不安の念を起さしむ

金巾頗底堅し
金巾類は一時內地相場の暴落に伴ひて粗布三エー七十七は二百八十三圓の安値迄市中取引行はれしが一般品薄を唱へなると休日前內地相場の反撥報に共後四五圓方氣配立直り今朝は又々大阪堅報なるに拘はらず

二百八十三圓を維持
して成行き傍觀の姿を呈しつゝあり

製粉商狀不味
內地製粉は其後竹印五六月限は五圓三十五錢、印七八限は五圓二十二錢を告げ廿六日には引續き軟調に、竹印五六限は五圓三十錢と更に五錢方の下押を演出するに至れり本品は依然供給過剩の姿なるに吃處いよく需要季に向ひたるにて當行漸く活況を呈するに至るに拘らず商この不勢を挽回し得ざるは矢張り空賣の相變らず行はれつゝあると月米の受渡し關係上例により投物の族出に因る現物延れを誘致したる結果に外ならざるべしと云はせる

雜穀不味閑散
雜穀類は內地移出向の物一般買控となる一面鮮內向の物は鮮人間一般の懐合、裕かなるに連れ代用食全階級を通じ、食味の珍に上米の穀する現狀に於て低廉な本品類の需要は頗る不振を極めたる此狀況を持て居る思惑筋に取らんとする手的なれば商內頗なると同率の氣配なり

生魚市場
本日は群山比良目釜山統營鯛木浦ゟぬ稀且立ち其他一般に入荷多く從つて氣配安し
▲たい三七△あまだい二八△さより一八△すゝき一四△めじろ二〇△ひらめ一〇△かれ八△あなご一一△さば一二△むつ四〇△にべ一五△甲いか一八△水いか一三△このしろ一四△ぼら一〇△しらうを八△小もぶ七△ひらす一二△小物一〇
◎釜山水產市場（二十八日）
水揚高四千六百三十九圓二十六錢船百九十五隻▲たひ二十圓▲大ふか八圓▲小ふか五圓▲はかふか▲ひらめ十圓▲さわら二十圓▲あなご十圓▲たこ八圓▲いか▲めばる八圓▲ぶり十五圓▲雜魚六圓

釜山穀物（廿八日）
▲正米（保合）　出廻品日々に相當ある事とて從つて今市場は至極堅調の狀態なり本邦定期米は小佳なり市場の商狀は繰り返しつゝありて昨止は三十六錢なりし當市場の當入は依然として精米口に必需原料買ならざるも日本より捗々敷買注文促しとて成が氣今一段と活況なく相場は保合同事を呈せり

株式會社仁川米豆取引所仲買人
金萬田神貢店
仁川海岸町三丁目
電信略符タツ
振替三八一
電話長一〇〇
電話長一一九
●證據金壹百石に付金壹百圓
●前金御注文は紹介を不要候
●新聞案內表
電信略號表進呈

讀者文藝課題及募集規定
▲用紙は端書又は西洋紙に限る▲課題…
□募集規程
は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等賞…に五十錢書籍券を呈す▲…用紙を更…
物は村風になびくの區　二十九日　三十日…
課題　新題　雑題…

大阪切米
△二十九日後場
〆九錢と四錢高に寄付十錢と騰ね七錢と押し八錢後七八錢より八九錢を持合ひ八錢と打止めたり
△後場當中出來不申

	二十九日の六月限
寄付	二十一圓〆九錢
高値	二十一圓〆八錢
安値	二十一圓〆七錢
正味	二十一圓〆六錢

朝入港開愛丸上陸一二三等客一等二十一名 佐川勝吉、武藤平、吉田佐太郎、木村榮一、中島安江、西川音吉、作野雄七郎、永尾得七郎、橋本貞太郎、高橋國彥、井口愛之助、具城慶作、阿部光嶽、上田白川、辻川……

山北一、大島捨四郎、山川定、吳熙……金種植、秀鳳九、趙命九、山川重……

第一番　仁川期米　二十九日前場（小堅し）　大阪天候晴

氣象
曇り但小雨（廿九日午後六時より三十日午後六時迄）
四月二十日

仁川米豆取引所

◇二十九日後場　大阪前止め二十六圓四十四錢後寄二十六錢の入電にて先限二十二圓……

仁川中米　九錢八錢九錢八錢七錢八錢二節……七錢六錢七錢八錢……四節〆八錢九錢八錢九錢八錢……

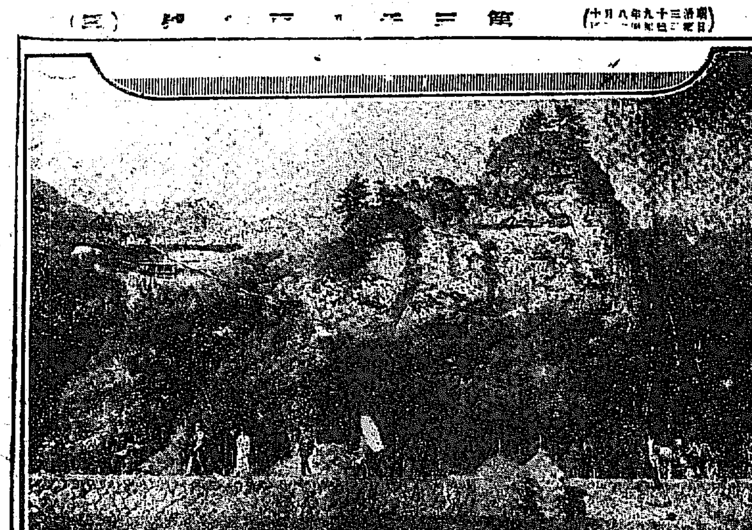
◉連絡船上陸客　二十七日

各地財信

平安北道（上）

平安北道に於ける客月中一般經濟は歐洲出兵説と内地及び南鮮地方より入込み來る穀類買入商人の多かりしとは益々穀價を昂騰せしめたるが此の邊が絶頂と認めたるにや貯穀者は亦々之を放賣するに至り之と共に本道農民の常食物たる粟は穀商の聲に促され滿洲よりの輸入激増し市場頓に活氣を呈し資金の運轉頗る活躍を示せり殊に本年は解氷例年に比し早かりしを以て木材の伐出し春耕、漁業下準備等の爲め人夫賃、耕牛、漁船、漁具の新調修復資金等の需要は例年よりも早く開始されたり『加之穀價の昂騰は益々土地熱を煽り之が買入資金の需要從つて増加し且結氷中運賃の高きと物價騰貴に因り買手少なき爲め仕入を控へたるとにより品薄を感じつゝありたる諸雜貨は解氷期に入り新義州其他各港各驛に盛んに入荷し一面其幾分を上流地方に移出するに付き資金の需要少なからざりしが前述の理由に據り小繁裡に越月せる金融界は本月に入り俄然活況を呈し前月民間金利二歩乃至二歩五厘なりしも二歩三厘乃至二歩八厘を上下せり前述の如く市況旺盛を極め物價は毎市益々騰貴するの傾向を示し來れるが中にも穀物の騰貴殊に甚しく白米の如き前月は平均二圓五六十錢を唱へしも本月末に於ては二圓臺を突破するの傾勢を示し粟亦例年に於て見ざる二圓六七十錢の高値を唱へたり。大豆一圓三十五錢蜀黍又一圓六十錢に上騰せしが唯小豆玉蜀黍のみ前月の價格と大差なかりき、牛は賣買の最盛期を經過せしと雖も春耕期に入りたれば目前の賣買相當に行はれたり而して其價格依然として上押一方を告げたり之に反して牛皮は一時下向として衛動亦鈍狀を呈せり木材は解氷期に入り其の搬出開始されたること〻て賣買取引旺盛にして殊に大口注文の殺到は前月と大差無く價格上押一方にて前月に對比し約一割の高價を示し居れり一面農家は農閑期を出で春耕期に入りたるを以て耕耘播種肥料の運搬等多忙裡に越月せり、礦業に就ては結氷中採鑛を中止せし向も解氷期に入り漸次之を開始するに至りしも時局の影響に據る藥品と鐵材の暴騰とは收支をして相償はしめざるものあり資力の少き企業者は爲めに未採掘を開始するに至らざる狀態を示せり、又平北道鑛産中最も産額多き黑鉛は内地相場低落の結果其の採掘高減少せり

九州觀察團畫報



耶馬溪の羅漢寺に觀光せし團員

祖國を後に 落行く先きは

◆支那朝鮮又は日本へ◆

近來長春を經て南下する家族同伴の露人頗る多く何れも相當の服裝をなし居れるが其の云ふ所に依れば彼等は東部西伯利亞各地に居住せる中流以上の者のみなるが近來横暴なる過激派勢力の東漸著しくなり來りしより危險の身に及ばん事を慮れ一家擧つて引揚げ來れるものにて大連、青島、上海又は朝鮮及び東京に向ふ者もあり尚沿線各地にある露人にして哈爾賓に避難し來る者續々あれど何れも物價騰貴の爲め極度の生活難に陷り實に慘憺たるものありと（長春）

慘たる汕頭

最近安東縣の某方面に達したる汕頭の狀況を聞くに二月の地震以來市況容易に回復せざるのみならず南北戰爭の爲め人心は常に動搖し殆んど市民は一日も安き思ひをなす能はず何時戰亂の巷となるやも計られず從つて通信は勿論交通運輸共に制限監視嚴重にして北方との電信は絶對に不通香港經由のもの英字平文に限り漸く音信を交換されつゝあるも事の一端にても時局に關するものあらんか直ちに監視者に沒收せらるゝの現狀なれば其の不便甚しと云ふりと（安東縣）

慘狀言語に絶す

◆妻子を賣つて食に代へ 老人子供を殺して生く◆

西伯利亞の特別會議に列席して最近哈爾賓に歸來したる露國ジョバンコフ氏は戰慄すべき悲慘な事實を齎した同氏の語る所に依ればテポロシュカでは二千名の小兒死亡しモスコフスキ、ペテログラードスキ、カルザスキ、ベルムスキ、シンビルスキ諸縣では飢饉窒扶斯が流行しつゝある▲キルギスに於ては僅か麭麪の五斤を買ふために最愛の妻子を賣つたものがある▲ブリアンスキ縣下オスタフコフスキ、チェルゲスキ兩郡は飢饉で荒野と化し終りつゝあるアンジシャフと云ふ田舍の邑では勞働に就く能はざる肉親の祖父母子供等を殺害して纔かに自分の細き命を續けざる可からざるの慘憺たる窮境に陷つてゐると云ふ

滯貨減少す

◆平壤は半數以上減退◆

四月二十日現在朝鮮全線に於ける内地行鐵道停滯貨物は内地本州行二萬一千八百七十九噸、九州行三千七百六十六噸なるが内西鮮地方にして最も滯貨多きは鎭南浦驛の千四百十噸、黃州三百八十噸、新安州五百八十五噸、平壤五百四十六噸にして一般を通じ貨車潤澤の結果滯貨減少せしが殊に平壤驛の如き殆んど半數減退したり（平壤）

甘草エッキス

曩に伯音太拉方面に於て畫策され既に關東都督府の補助下給認可を得たる甘草エッキス製造會社は其の後の調査に由れば伯音太拉及び

揃ひも揃つて 厄介なる兵隊

◆賊と通じ南方と呼應し◆

支那の事由來被服の窃盜と武器の持逃げざるものあり、今茲に掲ぐる二件の如きは殊に其の甚だしきものにして是等の兵を訓練ぜんとするは容易の事に非ず、須らく日本武官の規律ある訓練を經、然る後ち制度を改革するに非ずんば永久に斯くの如き事を繰返すの外なからんのみ

討伐隊を更に討伐

既報せし如く張奉天督軍は高粱繁茂期以前に於て孟吉林督軍と呼應し匪賊討伐をなすべく馬鎭守使の率うる右路巡防中より歩兵二百餘名を通化臨江一帶の方面に派遣したるが又た南方派は張督軍の手兵を南方に派したる隙に乘じ事を擧ぐべく種々劃策中の由にて最近奥地方面より齎したる情報に據れば最近に派遣されたる兵は右路巡防隊中歩兵六歩八兩營中の一哨を抽きたるもの二百餘名なるが討伐隊長歷五龍は柳河縣管内三源堡に陣地を占據し遙かに南方派と氣脈を通じ居るものの如く更らに討伐の事に從はざるのみならず通化縣内千瀧子の住民同興成の執事及び店員は歷隊長の爲めに捕はれ殺害されたりとあり依つて馬鎭守使は最寄なる鄭哨長をして是れが討伐を行はしむると共に更らに趙哨長にも命を下し速かに初期の目的を遂すべく討伐隊を増派したりと

逃げたる兵隊が

◆掛けの駄賃に掠奪を働らく◆

軸巖方面より急行したる某支那人の談によれば軸巖駐在の東邊鎭守使旗下の巡防隊中歩兵約六十名は二十五日被服武器携帶のまゝ逃亡を企て行掛けの駄賃として商家に押入り掠奪を擅にして何處ともなく姿を隱せり是れが爲め城内外は勿論附近一帶は恐怖の念に襲はれ警戒怠りなき有樣也（安東縣）

隱れたる名瀑布

◆恐く全鮮第一ならん◆

京釜線淸道驛より約二十町の處に『藥水の瀑布』とする大瀑布あり高さ二百尺に及び二段となりて落下するものなるが附近は怪岩奇石重疊し飛沫四邊に散りて其の壯觀恐らく全鮮第一の名瀑布と稱するを得べし而して藥水の稱あるは水分中に例のラヂウムを含有する爲めなるべく例年炎暑の候に及ばゝ遠近より集まり浴するもの毎日二三百名を下らずと云へるが此處に通ずる道路は甚だ險阻にして到底男子の者の跋渉し得べき所に非ざるも猶且つ每年夏季此の險難を冒して此の瀧に浴する者多きを見ても如何に其の水質の藥物的效果あることを知るに足るべし右に就き淸道警察署長田中傳次郎氏は此の隱れたる名勝を空しく湮滅せしむるを遺憾とし多年苦心の末淸道郡守金鳳鎭氏其他二三の有力者と諮り同地方人士より寄附金を得て道路の開鑿を決行せし爲め此程漸く完全の道路を造り且つ沿道に櫻樹を植ゑ立派なる道路となしたるを以て本年の夏は定めし探勝の客多かるべしといへり（大邱）

因みに記者は此の報に接し觀察の爲め同地を訪ひたるが詳細は他日を見て掲載すべし

鄭家屯方面は水質極めて劣惡にして不適當なるを以て一層水質優良にして交通其の他各種の便益を有する四平街に於て創立する事の適當なるを認めらるゝに到れりといへり（四平街）

送金して銃刑

◆奉天の錢舖と大檢擧◆

奉天兌換問題の緊張に伴ひ經濟界の動搖甚だしきより張督軍は錢業者に一大威壓を加へ數日前大洋八千餘元を新民府方面に輸送せんとする錢舖、長興號主人を捕縛して二十六日遂に銃殺に處したり一方財界の動搖は錢業者の檢擧を開始したる爲め錢舖業者は何れも皆市場より姿を沒し錢房は大に慄へ居れり

募兵困難ならん

◆奉天督軍々備擴張の歩武◆

曩に張奉天督軍々備擴張の歩を着々進めつゝある由は既報の如くなるが幷は二箇師團増設に關する所によれば從來の設備も進んで内容を擴大整頓すべく決定し黒統領管下にして遼陽駐剳右路都統王良臣の率ひし步一營馬二營は此の際迅速に混成一旅に改編すべく其の不足兵員は馬統領と協議の上步七營を鳳凰城安東兩縣下に於いて募集すべく確定せし由なれば近々募兵の事務開始を見るに至るべしと因に前募兵の成績より見るに爾來勞働賃金益々昂騰し殊に各方面に事業興隆しつゝあるの現狀なれば或は兩縣下のみにては所要兵員を得るに困難にはあらずやと推せらる（安東縣）

將來の大都

將來十萬の人口を包擁すべき都市の玄關口とも云ふべき鞍山驛は去る廿日より開設されたるが愈々鞍山市街の建設に著手せらるべき時期も差迫れるとて乘客以外貨物の集散は頗る多く蓋し開設に依り得る便宜は多大なるものあるべく期待されつゝあり（鞍山）

四平街電燈

四平街電燈株式會社第一回株主總會を三十日開催し業及び收支決算報告をなし而して目下電力供給不足につき發電機増設の件につき株主の意見を徵する筈なるが目下の狀態よりせば其は止むを得ざる案件にして假令同會社の經濟上如何なる困厄あるも其は公衆の便宜として此際電燈増加の件通過ありたきものなり（四平街）

◎産婆看護婦試驗　平南道産婆看護婦試驗は總督府醫院に於て來る五月廿四日學術試驗同廿五日口述試驗を執行すべく受驗者は五月十五日迄に願書を提出すべしと（平壤）

◎忠南の新利源 二十四萬圓

◆畦畔利用法の新發見◆

忠南道廳が水田の（畦畔）を利用して大豆を植付けたる事に就ては既報せしが元來大豆は忠南農産物中米麥に亞げる重要作物にして大正五年作付反別三萬四千五百餘町歩此收穫高二十二萬餘石に上れりと雖も右は主として畑地に作付するものにして水田の畦畔を利用し大豆を栽培するものは一部地方の外多く之を見ず然るに水田の畦畔積は約一萬七千餘町歩にして此の内大豆の適地は五千餘町歩に達すべく之れを

利用せば生産額

◆四萬石約二十四萬圓に上り◆

忠南水田地租年額七十五萬圓の三分の一は裕に之を以て支辨し得べく是を以て閑地利用の一として水田の畦畔に新に大豆を栽培せしむる計畫を樹立し大正六年は第一步として其の一割に相當する面積に栽培せしむることゝし獎勵を加へたるに其の成績左表の通りにして作付反別一千五百八十四町步收穫高八千百二十五石金額八萬一千二百五十圓（一石十圓替）に達し頗る良好なる成績を收めたり尚累年獎勵を加へて栽培面積を擴張し一は以て

農法を一新的に

◆進步せしめ畦畔地利用の◆

觀念を高め一は以て生産の増加を圖り農家の經濟を助長せむとすと道當局者は語れるが大正六年中の畦畔大豆栽培成績左の如し（公州）

（郡）	作付町	收穫石	一反收穫
公州	一二〇	七六八	六.四
燕岐	二二	二六二	一一.九
大田	一一〇	八七〇	七.九
論山	四三	二四九	五.八
扶餘	一二八	六五四	五.一
舒川	一〇六	六一六	五.八
保寧	九五	四九二	五.二
靑陽	四九	二五一	五.一
洪城	六一	一五〇	二.五
禮山	三五	二一一	六.〇
瑞山	二六三	六四一	二.四
唐津	三五八	一、八七四	五.二
牙山	四〇	一六五	四.一
天安	一五四	九二三	六.〇
合計	一、五八四	八、一二五	五.一

▲廣告▼

一日　二日　三日　四日　五日　六日

杉森の下痢の藥　家傳　一包定價二十錢　十五歳以上に用一包定價二十五錢　十五歳以下年に依て用代價二十錢

杉森の腸胃強淸涼藥　家傳　一劑二日分代價三十五錢　▲右下り病▲ねつ病の時用ゆ

杉森の小兒しけ藥　家傳　一包代價九錢十錢十五錢

杉森家傳いぼのとれる奇妙膏

杉森の淋病の妙藥　家傳

杉森の氣毒の丸め　家傳

杉森の咳嗽の藥　家傳

右十代目杉森の妙藥に付用玉へ必感心す　日本長崎縣佐世保市上京町三八　送料内地十二錢外國卅錢　七日分一圓三十五錢

製造所　杉森立益　醫院　電話七三三　振替口座福岡八七九九

大擴張　支部長募集　月報百圓給與有益なる各種書籍文明的販賣法希望者は規則並販賣用品送る（郵券拾錢）資本金五十萬圓　東京下谷　帝國教育學會

看護婦募集　規則書御申越次第送る　京城より當地迄旅費支給す　大連市西公園町三六　電話三〇八　遼東看護婦會

大募集　米大的中　米の奥儀を公開す　驗來賣買と成功策を指し必勝の端書で申込次第呈す　五月分　至急申込めの通信料六錢　東京本郷區湯島四丁目　神誠舘

高野山のおまいり日は　四月三十日より五月一日まで　仁川宮町　高野山

廣告

京城府昌信洞六百八十七番地ノ一

一、田　壹百拾六坪　十九番地

一、同上　壹百七拾八坪

京城府八光熙町二丁目三百六番地

一、田　壹千二百拾八坪

一、垈　六百參坪　壹棟

一、同上　建物

京城府西大門町……

右詳細ハ當店ニ就テ御聞合相成度候

大正七年四月

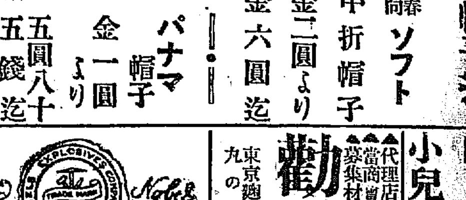
東京建物株式會社京城支店　電話一、二三八、一一六八

運動會御花見　好い時候に好い酒　醇良淸酒　金露　京城南大門通二丁目　大塚京城支店　電話四〇一番

花柳病專門　外科　◉梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病◉睾丸病◉肛門病◉皮膚病◉婦人病◉神經衰弱◉ヒステリー　京城南大門通愛工銀行裏　司生堂醫院　電話三六五番　909

時計貴金屬指輪眼鏡商　地方の御注文は代金引換にて送る　京城本町二丁目京城銀行前　三浦天龍堂　電話一〇〇二　振替京城三〇〇番

新流行帽子　春向　ソフト中折帽子　金二圓より金六圓迄　パナマ帽子　金一圓より五圓八十五錢迄　送料鮮内十二錢外二十錢　鳥打帽其他最新形澤山　御注文の際は柄向（縞とか無地など）色合御嗜好及價格頭廻り寸法御申越被下候はゞ必ず適當の品を計ひ御送付可申上候　京城太平通　京城日報代理部　電話構内十八番　振替城三〇〇番



◇……より事總て一種三旬以内……表後一週間以内に到……見通告者には五十錢の……券を呈す　但何番何號と明記し……宛名は京城日報販賣局讀者文藝係

内科　呼吸器病　小兒科　腸胃病　婦人病　京城若草町大通　今村醫院　電話一八三二番

勸業債券　販賣者募集　▲代理店、支部長、單獨販賣員、月收卅圓以上、希望者は履歴書送れ　▲當商會は一般社會に定評あり、又確實なる生ける證明無數にあり　▲募集材料極めて豐富、全國樞要の地に販賣店多數あり　東京麹町丸の内　聯合商會債券部　電話本局三五六四、四四一七　振替東京三三八五

Alfred Nobel's　NOBEL'S EXPLOSIVES COMPANY LIMITED　GLASCOW　英國ノーブル爆藥會社製朝鮮總代理店　三井物産株式會社京城支店專屬發賣店　▽六十二度ゼリグナイト（鐵道工事用）▽五十四度ゼリグナイト（鑛山採掘用）＝爆發力强大＝惡臭及爆煙稀薄＝優良品＝　京釜線黃澗驛前（振替京城一六五二）　銃砲火藥卸商　㊂三共商會　弊店は現に京釜線改良工事用火藥類一切並に外人鑛山其他鑛業會社等大口供給用達罷在候

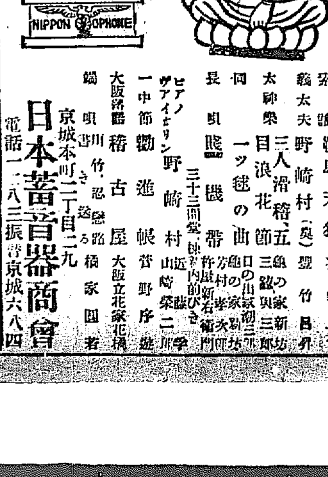
◎淸酢値上廣告　一今般容器及び原料騰貴の爲め五月一日より一割五分値上げ仕候也　京城酢造組合

割よき出資法　安全第一有利事業　出資額五拾圓　元利決算三ヶ月　配當年二割五分以上確證　◎内容御照會を乞ふ◎（此の廣告にて御申込の方は新聞紙名御申添被下度）　東京銀座　大和商事株式會社信託部　電話京橋二九六四　振替東京四〇八壹番

建築金物士工用具一切　八角鋼並ニ黑鉛用金網　鐵鋼金物製作販賣　地方御注文ハ迅速ニ御便宜相成り可申候　京城本町一丁目　直輸入商　太佐野彦藏商店　電話百六十三番　振替京城一二〇番

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　酒井婦人病院　院長　酒井一郎　電話二六〇〇番　一八番

御待兼　五月新譜音譜賣出　NIPPONOPHONE



宮多六太　喜多義太夫　天狗馬吉　竹本呂昇　三人滑稽五魚の家新坊　三城與三郎　目浪花節　一ツ毬の曲　日の出家小勝三芳村孝次郎　長唄　三十三間堂棟木の由來　竹本小糸　ヒアノ　ヴァイオリン　野崎村　近松山崎與二郎　一中節勸進帳　菅野序遊　大阪落語稽古屋　大阪立花家花橘　端唄　竹、忍ぶ路、きゞ送る　橘家圓若

京城本町二丁目二九　日本蓄音器商會　電話一八三　振替京城六八四

内科　小兒科　京城永樂町一丁目（商品陳列館前）　村上病院　院長　醫學士　村上龍藏　電話六二三番

塚原卜傳

第六十席　悟軒道玉口演

熊吉石を投捨てゝカラ／＼と打笑ひ　熊『兄さん邪魔になる奴はアノ通り粉々にして了ひました、サア少しも早く若殿様を　伴『心得た』と伴作小太郎を助け足に任せて此所を立退かんとする、恐ろに最前格子を打破つたる時は風雨強くして物音も聞ねなかつたが、今少しく風も止み物静になつた時に番小屋を打毀した其物音百千雷の落つる如く、地響き烈しく聞ねた、夜廻りの役人ソレ曲者忍び入つたり大切の罪人奪はれてはならんと十七八人棒を携さへバラ／＼と此所へ走付来り　『ソレ各々其れた

りましたサア弟、汝は若殿を介抱して早く立退け、追来る者あらば伴作一刀の折れるまで切伏せて呉れん　小『熊吉宜いか』熊『合點でござります』と小太郎を肩に懸けトツトツトと足を早めて駈出す、一旦逃げたる役人の注進に依り、城内俄かに物騒がしく、提灯松明敷る花の闇にきらめく星のごとく数百人の鬨の聲、耳を貫ぬく其有様、一時も早くと伴作兄弟石垣の下へ走りつき、鍵縄を持つて垣を越ねんとする、間もなく走来る役人の面々八方より聲を揚げて逃がすな逃らすなと押取巻く、推参な

る曲者を召捕れ』と四方から打つてかゝる、小癪な奴と熊吉、躍り懸ると見れたるが　熊『木葉役人の分際として我々を召捕らんとは片腹痛し、サア片端から蹴殺して呉れん』と拳を固めて右と左へ、打仆し、或は腰を踏折り背骨を蹴折る、力八十人に餘る熊吉が暴れ出したから手に立つ者もなく、一つ操られたが最期忽ち目玉ポン／＼と飛出し血を吐いて即死をする、見る／＼中に十二三人打殺した、残る役人叶はじと一目散に逃て行く、塚原愈々舌を捲いて　小『何と伴作汝の弟は世に稀なる大力、良い弟を持つて其方は幸福である、拙者のためには命の恩人、何はともあれ逃去つたる者大勢を呼び集めて逆懸来らば一大事、早く此所を立退くことにいたさう』伴『畏まり

りと秋山伴作一刀の鞘を拂つて當るを幸ひ斬伏せ薙伏せ、獅子奮迅の勢ひを以つて前後左右に追立て突立て一方を蹴破つて難なく石垣を跳り越ね河岸へ来つて見れば以前にも増して凄まじき水勢、なれども兩人事ともせず、熊吉は小太郎を背負つて渦巻く水の中へザンブと飛込み抜手を切つて泳ぐ、伴作も續いて飛込み、忽ち向ひの岸、ホツと一息吐いて之れから足に任して小田原を立退き四五十町の道を西南に走つて、石橋山に分入りモウ此處まで来れば追手の憂ひもないとヤツと安心、濡れたる衣服を絞り支度など改める時に小太郎が　小『偖之れから拙者は本國へ戻り、彈正を討つて父兄の恨みを晴らさねばならんが伴作は固より家來なれば同道いたすが熊吉は之れより眞鶴へ立歸り父に孝養いたす

やう、其方の働き勝家忘却はいたさんぞ　熊『イエ其れは不可ません親父の言付けに、人として忠孝を忘れてはならん、兄の主人は其方にも主人、此先何ういふ事があるまい者でもないからお供をして萬一の時には命をも捨て、御奉公しなければならんと堅く申付かりました、どうかお連れ下さるやう、　小『イヤ汝の志は誠に忝けないが世を忍ぶ身では却つて一人でも少ない方がいゝ、伴作一人あれば決して心配ないから安心して立戻つて呉れ、もしも汝の力を借りなければ間に合はぬ時は書面を以つて招くから其の時には馳け付けて呉れるやう、汝の言葉に忠孝といふ二つを忘れてはならんといつたが汝には老人の親がある、其親を捨て、拙者に随ふ時は忠あつて孝なき道理、汝は兄に代つて親へ孝を盡すが大切なる勸めであるぞ』。

京城明治町一丁目　入院隨意　胃腸病院　電話一六五九番　院主　佐々木杏造

五月一日　九星　舊三月廿一日　戊申　本命三碧　東　定　大安

▲三碧 いそ／＼する事有日辞ぬ、新事は合坤の人は吉啗觀来▲四緑 幸福の日轉居入學事に[illegible]名出行 商用 漁船船事大に来むる幸甚吉▲五黄 危險の事有注意の事手、移事は吉小兒衛生水難注意▲六白 不慎の事有日[illegible]七赤 [illegible]新事手控着事は吉猥に約束を爲す勿れ▲八白 意想通ひの事有日新事手控[illegible]に用心せらるべし▲九紫 [illegible]▲一白 [illegible]▲二黒 さんちんかんの事有日新事手控得事は吉萬入念に計るべし

演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　櫻井町　電話八七三　大正館

○當る廿六日より特選大寫眞 海lower日活[illegible]「[illegible]」○中村扇太郎一派出演　○舊劇『鬼丸花太郎』全五巻 [illegible]　○泰西大活劇『明光』八千呎 [illegible]　○新派大悲劇『藝者一代』全五巻 [illegible]

明治町二丁目　浪花館　電話二六〇番
△四月十七日より開演　○京阪落語寄席和合一行 [illegible]
▲落語（しん生）▲音曲（稲荷）▲落語手踊（圓彌）▲もの まね（頭彦）▲落語手踊（歌之助）▲落語（遊窓）▲少年落語音曲手踊（一小）▲落語（しん鏡）▲中入當一派十八番の電氣應用所作事壽獅子▲落語音曲（花丸）▲落語手踊（木鶴）▲大切喜劇

日本活動寫眞常設館　有樂館　電話（階上）五〇七番（階下）二〇五番
當る四月廿五日より公開特別大寫眞　▲滑稽名探偵　キネマ界の最高權威　○新劇『國定忠次』全六巻 [illegible]　○戰爭哀話『召集』全三巻 [illegible]　○新派悲劇『露の[illegible]』全四巻 [illegible]

南山町五丁目　電話二〇二八　稲荷座
浪花界壯年秦斗桃日軒 雲太 [illegible]

電話三六三七　黄金館
當る四月二十日より特別三大寫眞提供　▲滑稽 [illegible]　▲新派劇 [illegible]　▲人情活劇『母の愛』[illegible]　▲新派事大々悲劇『残る母娘』[illegible]

流行　行燈袴　▲特價金拾圓也▼　送料鮮内十二錢外三十錢
◎純毛にして新流行縞物四種　◎世間ありふれたる內地製品にあらず
純英國製にして「シワノヨラヌ」右壹白枚限り時價販賣仕候間至急御注文願上候
京城太平通り一丁目　京城日報社代理部　電話長三一六　振替京城二〇〇番

徽毒淋病で當惑する人に
帝國醫科大學特命製劑者たりし赤井先生の考案に成る藥化學應用療法は効力卓絶にして在來行はる自宅療法と趣を異にし專ら使用の安全、簡易、經濟を主とせる最善良法なり
無代進呈　ハガキに必ず病名を記して申込あれ彩色圖入の詳細解説書非賣品を直に秘密送呈す
東京市本所向島小梅町二〇三　東京藥化學研究所

（一等當選廣告）
宮内省御用達　三ツ矢　サイダー　平野水　コローナ　帝國鑛泉株式會社
去ル四月三日本紙掲載ノ懸賞廣告ハ豫想外ノ多數ニ達シ左記ノ通リ當選相成候間此段廣告候也
一等　帝國鑛泉會社　三ツ矢サイダー
二等　平山商店　サキ香水
三等　高橋製帽所　鷹印帽子
右當選廣告ニ對シ去ル廿三日各廣告主立會ノ上抽籤ヲ行ヒ左記各位當選シ所定ノ賞品ヲ郵送セリ
◎一等當選　岐阜縣羽島郡上羽栗村　伏見竹次郎
◎二等當選　廣島市堂屋町　造賀年夫　山口縣大島郡遠崎村　三人庄吉　備前邑久郡豐原村　井上庄吉
◎三等當選　白石時正堂方　吉賀幸男　臺灣阿猴廳警務課　勢和清次郎　和歌山縣日高郡中山路村　吉村十人　福井縣香川市三瀬村　吉井政太郎　姫路市吉永上町　井上正義　式内　大阪市上[illegible]　[illegible]　愛知縣丹羽郡西成村　宮松木代　愛知縣丸龜市土居町　浅井新一　香川縣多度郡余呉村　大田定子　滋賀縣大郡余呉村　大澤九代　愛知縣知多郡　杉浦榮五郎
大阪西區南堀江四丁目　廣告代理業　萬年社懸賞係

京城明治町一丁目　電話二四〇番　贊化病院
内科　小兒科　入院隨意　無料施療す　毎日五名を限り
醫學博士　古城憲治

金の雨を降らした様な大問題
諸君の生活費が半減せらる！物價騰貴の今日人間の生活上に缺く可らざる日用品を有力な製造業者が聯合共力して特殊の方法で無比の特價市價の半値乃至三分の一で直卸を始めた此地方一名限りの特約賣店となり活動する如何なる小資本家も金儲は樂々と意の儘である希望は返券入り京本郷湯島六の一東京日用雜貨製造組合直卸部へ照會次第の手引案内書支季節商品數百種の見本[illegible]無代進呈

直段表　實用經濟向　本場秩父銘仙
縞物（大柄中柄）一反　金八圓前後より十圓位迄
格子（中格小格）一反　金九圓五六十錢より十一圓位迄
絣物（小柄中柄大柄）一反　金十圓前後より十二三圓位迄
秩父大島（中柄小柄）一疋　金廿八九圓九圓より四十六七圓位迄
○送料朝鮮内十一錢外三十錢
○御注文の際は男女年齢の別柄向きの御嗜好（縞とか絣など）及び價格御申越し下されば候はゞ必ず適當の柄見計ひ御郵送可申上候
織元特約販賣　京城太平町一丁目　京城日報社代理部　電話長三一六（構内十八番）振替京城三〇〇番

信用ある東京三金の靴

ボックス革製編上靴　第一號 金四圓五十錢　第二號 金五圓五十錢　第三號 金六圓五十錢　第四號 金七圓五十錢
ボックス革製變化靴　第一號 金四圓五十錢　第二號 金五圓五十錢　第三號 金六圓五十錢　第四號 金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム靴　第一號 金五圓五十錢　第二號 金五圓五十錢　第三號 金六圓五十錢　第四號 金八圓五十錢
革見本寸法用紙付目錄送呈
近來類似廣告あり御買求の際は東京三金に御注意を乞ふ
以上各靴共最上の抜術を以て最も入念に精製せる材料は七紳士用一般靴類は節の好適なる品にて注文の代金引換又は小包送料は質費にて送附す
東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝六九〇番　振替東京七壹七三番

内科　胃腸病科　診察午前九時より
京城本町一丁目　石川醫院　電話一二七二一九番

外科　皮膚科　内科　花柳病　小兒科　診察夜九時迄　入院隨意
京城旭町一丁目（本町通り左に入る）島崎病院　電話二七三六番
院長　正六位勳四等功五級　島崎龍一

醫化學諸器械一式　Ⓚ　仁川本町　北島藥店　電話三四。振替京城六七番
京城本町永樂町角　北島藥店京城支店　電話七六一番

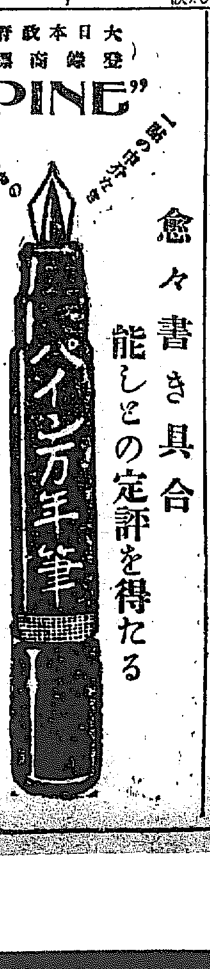
藥種賣藥卸商

資本金　壹百萬圓　積立金　參十一萬五百圓
株式會社　朝鮮商業銀行　京城南大門通一丁目
一般銀行業　倉庫業
電話五五八、長八八一、一六二三、四三七　振替京城一一〇四三番
頭取 [illegible]　支配人 豐田明敬　銀行長 趙鎭泰
南大門支店　本町支店　仁川支店　平澤支店　群山支店　東大門出張所

朝鮮鑛石學及採鑛法
内容大要
△地質學　岩石總論　火成岩水成岩變成岩の狀態　岩石各論　地殻の變動
△鑛物通論　鑛物の形態　鑛物の物理的性質　成生及現出　分析及鑑定
△鑛物特論　造岩鑛物　鑛石類　脈石類
△探鑛法　鑛石の露頭　附鑛探鑛
△地質鑛石　地質大要　鑛石の地質的分布　各道の地質及鑛山
附録　▽鑛石分析及鑑定表△　朝鮮鑛業令△
安蘇善四郎著　四六版二百五十頁　並製金一圓廿錢　上製金一圓四十錢　送料六錢
發行所　京城本町二丁目　電話二一五二七　振替京城二二八　ウツボヤ書籍店

朝鮮總督府編　朝鮮植物調査書　四六判洋裝　定價九十錢　送料六錢
前東京高商教授切田太郎　中央日本大學講師古舘市太郎共著　改訂五版　朝鮮商業提要　三月一日發行　改正定價八十錢　送料八錢
朝鮮學術研究會編　中學商業女學高等　入學試驗答案集　四六判二百頁　定價五十錢　送料六錢
常平庵主人閲　朝鮮古錢價格圖鑑　近刊

蚘退治
ST式固形石油乳劑を使用して蚘の蛆を撲滅せられよ!!
此の良法は只此一法あるのみ!!
一打二十八錢　半打十五錢　送料實費
大阪賣所　京城太平通　電話長三一六　構内十八番振替京城三〇〇　京城日報社代理部

大日本政府登錄商標　"PINE"
一生の伴侶なる　萬年筆は御家庭の必要品


愈々書き具合能しとの定評を得たる
萬年筆の眞價はパインを措き他に知るべからず
特許既製防破裝置附
繰出式萬年筆　金六圓八十錢
押出式紳士向　金五圓三十錢
インキ止式婦人用　金三圓八十錢
インキ止式短軸　金四圓九十錢
インキ止式實用向　金三圓八十錢
パイン學生號　金二圓八十錢
ビジネスペン（事務用）　金一圓九十五錢
不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

品質第一　誠實第一　賣行第一
最上醬油　キッコーリウ
釀造元　仁川港　日本醬油株式會社
京城出張所　京城大平通二丁目電話二四五番

京城日報
第五版
三十日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

▲先限(?)二十六圓四十六錢　▲二十九日後場　大阪前止め二十六圓四十四錢後寄　四十六錢の入電にて(?)二十二圓
仁川米豆取引所

英國の政界一斑（一）

蘇峰生

政治家と新聞

一　ハーストとノースクリッフ

凡そ世界を見渡すに、吾が帝國現時の政界ほど、不景氣なものはあるまい。吾人は寧ろ眼を轉じて、吾が國の同盟國たる英國政界の現狀の觀察を試みるであらう。素より語るべき事は限りもないが、唯だ其興味ある點に止め置く。

一言にして云へば、英國の政界は殆ど新聞に依て支配せられ、その新聞は、殆どノースクリッフ卿所有の新聞に依て、支配せられて居る。即ち一個のノースクリッフ、なるものは、形容でなく、事實の上に於て、無冠の皇帝とも云つてよからう。

今日大西洋を隔てゝ、米國にハーストあり、英國にノースクリッフあり、何れも新聞トラストの頭目にして、その勢力は偉大である。殊にハーストの如きは、太平洋沿岸より中部を貫き、大西洋沿岸に至るまで、その所有若くは關係する新聞の讀者、總計五百萬を下らずと云へば、その勢力の異常なるは勿論なれども、而も彼の新聞は米國政治の中樞に觸れて居らぬ。多數の讀者を擁しつゝも、その意見は、概ね言ふだけにして行ふべからざるに終る。然るにノースクリッフの如き、その新聞の力に依て、一の内閣を倒し、又た一の内閣を造り、關係でも陸海の司令官でも、勝手に任免黜陟するの趣がある。朝に紙上に發議して、夕に廟堂の上に實行せらるゝものが多い。されば兩者の得失は、自ら分明である。

二　新舊兩首相

今日英國の政界は、因襲的に月並的に自由黨と統一黨との二者に分類せらるゝが、實際はロイド、ジョージを中心とする一派と、アスキスを中心とする一派とに別れて居る。以上より各黨與に、開戰以來休戰狀態に入りつゝあるも、その分野は明白である。今も統一派の厳然たる首領には、ボナー、ローがある。又たその統一派中のリベラル、ユニオニストの首領としては、チエムボレンの子オースチン、チエムボレンも居る。前統一派の首領として、バルフオアも居る。併し彼等は或は潜勢力かも知れぬが、活勢力ではない。活勢力としては、現首相のロイド、ジョージ、前首相のアスキスである。

今日英國は、形式に於て擧國一致であり、黨爭は自他の申し合せにて爲ぬ事としてあるが、而も議會に於て、隱然一時としては公然相接戰するのは、此の新舊の首相及び其周圍の人々である。而して彼等が何れも自由黨であり、何れもキャメル、バンナーマンの内閣組織以來、一九一六年アスキスがその首相の位置を去り、ロイド、ジョージが之に代る迄、同一内閣の同僚たりし行掛りを思へば、政界の變化ほど面白きものはあるまい。而して此の兩者の周圍に、一方にはノースクリッフ、他方にカドバリー新聞の對抗あるは、亦た面白き對照と云はねばなるまい。

三　新聞の勢力

アスキス内閣を倒したるものも、ノースクリッフ一派の新聞である。ロイド、ジョージを擁立したるものも、ノースクリッフ一派の新聞である。語りノースクリッフが天下を取りて、ロイド、ジョージは滅したと云うても、過言でない。ロイド、ジョージより見れば、ノースクリッフは[illegible]自旅を昇ぎ上げんとする[illegible]ノースクリッフは機轍にも其機を捉へたと云ふであらうが、ノースクリッフより見れば、据膳をロイド、ジョージに食はせたと云ふであらう。兎も角もロイド、ジョージは、ノースクリッフには、頭が上らぬと云ふ程でなきにせよ、離れ離き關係がある。されば或者はロイド、ジョージはノースクリッフの諸新聞の囃や囃に連れて、踊るものと認めて居る。

所しそれは恐くは冤罪であらう。必ずしも一から十まで、悉くノースクリッフの命令に盲從すると云ふ譯ではあるまい。例へばロイド、ジョージの内閣組織の際に、ノースクリッフ新聞の中、持主の直隷たる「デリー、メール」が、バルフオアを葬るべく急霹靂論したるに拘らず。彼を外相として新内閣に殘留せしめたではないか。併し或はこれを除外例と云ふとも、出來る。ヒユレ、セシル卿が過日の議會の討論の際に、新聞の所說と現政府の施設とが、影の形に伴ふが如きは、奇怪千萬である。是れ現政府がノースクリッフの新聞を使嗾したるか、然らざればノースクリッフの新聞に自ら驅使されたるか、二者その一に居らざるべからずと云ひしことは、如何に兩者の關係が、緊密であるかと云ふことを推察し得べきであらう。

四　新聞の功罪

一九一四年八月開戰以來、ノースクリッフの新聞が如何なる事を爲したるか、その功罪に就ては、議論も區々であらうが。兎に角爾餘のものは思案分別、沈吟猶豫、言はんと欲して云ふ所を知らず、折角言ふべき事を見出だすも、それを無遠慮に喝破するの勇氣なく、互に顔を見合せて居る最中に、獨りノースクリッフ派の新聞丈は、遠慮會釋なく、傍若無人に、その意見を開陳し。徹底せずんば止まざるの槪を示したのは、持主たる彼が勢力を得たる所以の、偶然でない事が知らるゝのである。殊に吾人の記憶に殘る二三を云へば、開戰の當時首相アスキスは、その親友ホルデン卿を、大法官より再び陸軍大臣に復歸せしむるつもりらしく見受けられた。然るにノースクリッフの諸新聞は、極力之に抵抗し、キッチナー元帥を推薦した。

キッチナーの陸相に任せられたるは、必ずしも之が爲めではあるまい。アスキスの語る所によれば、疾に此事は新聞の議論に上らぬ前、彼の胸中に定まつて居つたと云ふことであるが、併し世間では、ホルデンを退治したのも新聞であり、キッチナーを陸軍省に引入れたのも新聞であると信ぜられて居る。それから一九一五年の春、英軍が戰闘線に於て彈藥に飢ゑて居ると云ふ事、機關銃、速射砲の不足して居ると云ふ事を、無遠慮に發表して天下の視聽を聳かしたるも、又た徵兵令を施行せねばならぬと主張したのも、彼の新聞である。それから陸軍大臣としてキッチナーの無能を攻擊したのも、亦た然りである。

此事に就ては、此頃政府對新聞の問題に關し、本年三月十二日の議會に於ける、アスキスの演說中に面白い挿話がある。其の意味は左の通りである。

余は新聞のキッチナー卿攻擊を頗る痛切に感じ、陛下に上奏して最初の機會に於て、キッチナー卿に、國家最高最榮の勳章たるガーターを賜はらん事を請ひたり。陛下は直ちに之を嘉納せられた。陛下は直ちに之を嘉納せられた。留米卿は一再ならず、余に向つて莞爾として、某大新聞の持主の名を睹り、余は被[illegible]に對して何等の不快をも感じ[illegible]らぬ、ガーター[illegible]は、彼の賜であると笑語したり。

併し必ずしも斯る新聞のみではない。キッチナーも若し露國に赴く途中、北海に水葬せられざりしならば、恐らくはノースクリッフの爲めに、紙葬せられたらんも未だ知るべからず。アスキスの内閣が崩壞したのも、ジエリコ提督が、司令部長より追ひ拂はれたるも、參謀總長サー、ウイリアム、ロバートソンを、參謀總長より唄き落したるも、何れもノースクリッフの新聞である事は、隱れもなき事實である。善にもあれ、惡にもあれ、兎に角ノースクリッフ新聞の勢力は、實に偉大である。彼を新聞界の奈翁と稱するも、餘りに過分とは云へまい。

露國の擾亂と戰局の前途（二）

高柳少將談

而して是等の不準備に加ふるに露西亞の政治に與る人々は、國民を指導すると云ふことを忘れて居つた、國民の指導にも或は産業、或は敎育、其他種々の方面があるけれども之れ等は暫く專門家に讓つて戰爭と云ふことに就いて國民を指導し國民を敎育することを忘れて居つたことが大なる失敗の原因をなして居ると思ふ。此頃は一の國家の政治は總て國民の心でやらなければならぬと云ふ。外交も軍事も國民の心でやらなければならぬ、即ち國を擧げて仕事をしなければならぬと云ふことであるが、それには何人でもそれ相當に國民を敎育した後にしなければならぬ。文盲無智の國民を相手にしては到底仕事は出來ない。故に政治の基礎を國民に置くとすればそれに先立つて國民を指導して置かなければならぬ。之を露西亞に當て嵌めて考へて見ると當局者は毫も其邊に意を須ひて居なかつた。殊に戰爭に對しては少しも國民を指導敎育して居らなかつた。其結果はどうであつたかと云へば戰爭には失敗に失敗を重ねて之が原因、否動機となつて――それにペトログラードに於るパンの缺乏が最も小さい動機となつて今日の革命を惹き起し、革命が成立したのである。斯の如くにして戰爭に這入つたのであるから愈々開戰となると第一に戰の道具が要る、其準備がないものであるからドン／＼外國から買入れなければならぬ、そうすれば國の財政は左右となる。實は今度の戰爭に就ては立派に準備の出來て居た國はなかつた。敵の獨逸と雖も左程の準備があつたのではない、聯合國に比べると大分整つて居たと云ふまでである。そうして幾分か準備をして居つても愈々戰爭に這入つて見るとなか／＼それでは足りない、足りないから後から／＼やつて行かなければならぬ、やつてやつてやり拔いて今日の狀況、維持して居ると云ふのが聯合國或は敵國の狀況である。斯の如く他の諸國は補ひを付けて行つたのであるが獨り露西亞は其補ひが付かない、何故に付かないかと云へば第一に國民の後援がない。國民の後援のないのは平時から國民を指導敎育してなかつた爲である。今一つ露西亞人の智慧を見ると云ふとなか／＼事に應じ變に處して行くだけの頭腦がないのである、之は大體に露西亞人を馬鹿にした樣であるけれども露西亞が今日の國を成した基を見てもよく解る、即ち露西亞文明の根蒂は何にあるかと云ふと之は日本と露西亞と支那を比較して見れば解ることであるが、支那は如何にして外國文明を吸收して居るかと云へば人間と智慧と材料と金をすつかり外國から持つて來て買つて自國に植ゑ付ける、一旦植付けてしまつても其外國の人間を手離したらもう仕事が出來ない、何時までも外國の文明を維持して行かうとすれば其の人間も金も材料も何時までも居つて貰はなければいけない、露西亞の外國文明を輸入するとそれは之と趣きを異にして外國の人間と金、材料等を入れてそれをすつかり自國のものにしてしまう。獨逸人なり、亞米利加人なりを引つ張つて來て或る事業を經營しようとすればそれを歸化さして露西亞人にしてしまつてさうして外國の文明を丸呑みにして今日の露西亞の文明は成立つて居るのである、日本は支那とも露西亞とも其趣きを異にして初めは外國の人間も金も材料も引つ張つて來るがそれを國民が消化してしまう、而して外國人も要らぬ金も返す材料は内で作ると云ふのが日本の自慢である。

鮮滿在郷軍人會に望む（二）

在郷軍人會幹事理　永沼中將講演

若し此會合が色々な事情があつて成立ち難い、發展し難いから、致方がないと之を打棄てゝ置いても構はない團體であるならば、自然に任せて置いてよいかも知れないが、會合の目的が目的であるから

△自然の儘に打棄てゝ置

どうしても之を打棄てゝ置く譯には行かないのである。此の趣意が會員自身にも徹底して居らず、又地方官民にも徹底して居らない、此の趣旨が徹底して居るならば、在郷軍人として此處に會合があるにも拘らず、花に浮かれて騒ぐ樣な事は無い筈であると自分の頭には考へられる

世の中は活動の世の中であるから誰も忙しい忙しいと云ふ口實で之を打棄てゝ置いたならば到底成立つものではない。此の困難な事情に處して之を成立たしむるのが、此の會合の最も尊い所であつて、易い事であるならば誰にでも出來る、自分の本業本務の一部を

△犧牲にして

會の爲に盡すので始めて存立の趣旨が貫徹し又發展も行く譯である。自分始め本部の役員は一方には本務を有つて居る、併しじつとして居ては相濟まぬと云ふ考で、本務の一部を犧牲、併して頼まれもせんのに斯うして世話振をやいて居る。そこが尊い所であると、自分は信じて居る。そこで自分は昨年來大いに感じて及ばず乍ら力を盡して居る關係上內地邊りでは居睡りして植木などをいぢつて居つた將官方も段々在郷軍人會の世話をやいて呉れる樣になつた、之は心強く非常に喜んで居る所である、兎角將校が澤山集まると理窟許り多くて

△軍人精神を發揮すると

か在郷軍人會の目的を達成するために努力するとか云ふことは甚だ薄い、軍隊で現役で居た頃は軍人精神がどうの斯うのと八釜敷く言つて居り乍らいざ在郷軍人となると頗る冷淡になるのは自分の憤慨に堪へぬ所である、併し此頃は其氣分が段々覺醒されて來た樣に考へられるのは非常に嬉いのである。

義家過勿來關圖　小坡　小林　福勝
遠征多歲在天涯。白旄歸來拂彩霞。別有胸中春色在。東風詠出古關花。

須磨春遊　東山　鈴木丈之助
春風來訪[illegible]僧。千古梵王如有意。故添微雨彩櫻花。

兒島高德題詩櫻樹　大夢　奥村　昇
行宮[illegible]冷夜沈沈。裂笠來衝煙雨深。千古孤忠詩十字。白來櫻樹丹心。

芳山春曉　柳ね　石井　淨空
滿山春色白氤氳。花鎖皇陵曉未分。殘月一痕櫻樹。天鵝聲白半峰雲。

◇（雜誌抄）

◎五月の運勢（探偵雜誌）

◇一白　進退共に意の如くならず苦痛多し。損耗に掛り易ければ注意すべし。追々順境に向ひ二十日頃より何かにつけて都合よかるべく給料が昇り又は商賣繁昌す

◇二黒　[illegible]

◇三碧　非常に景氣よくメキ／＼昇給せん。運ふべく名譽揚り多年の宿望達せらる。短氣を慎まざれば失敗すべし

◇四緑　心情、仕事も變化を生じ易く二十三日頃より物議はしからざる事あらんも近くなりて鎭るべければ氣を永くすべし

◇五黄　此の月は他人の爲に損をしたり氣杯にて心配することあるべきも思はぬ人より引立てられたり又は多年逢ぬ人に逢ふ事あり

◇六白　二十五日頃まで思ふ樣に行かざるも能く辛抱すれば幸福せ來るべく

◇七赤　順境にて萬事意の如く運ばれ何事も進むに利あれば口舌の事より飛んだ災難に遇ふ事あれば氣を付くべし

◇八白　吉凶の鮫れ日なれば注意が肝要なり殊に二十五日頃より思ふ樣に行かぬ事あるべきも注意さへすれば好かるべし

◇九紫　不運さいふにも非ざれど不時に金が入いつたり交はし祭り揚ぐる事あり

東大文科教授文學博士　服部宇之吉　學習院教授　小柳司氣太　兩先生共著

詳解漢和大字典

熟語成句60000！

信用冠絶漢和辭書界の第一位に推さる
增補第五十版
四六判二千百餘頁　最新式音訓索引並に草字便覽附

現代學界の權威たる兩先生が十餘年丹誠の結果、漢字漢語の活用字典に功せる本書也。包容七萬、死語廢語を除外し、新語、學術語を以て之を解釋は親切懇到、凡て一般社會の爲に最も重寶便利を與へ、字典の有ざるも長所を網羅せり。特に敎育社界の信用博大にして、全國各中等學校の指定參考辭典に選せられたる也。やがて本書の絕對價値を立證する者也今や更に訂正して第五十版に增補し、新學期に際して世に提供するは弊社の最も光榮とする所也

特價　金貳圓卅錢（正價金貳圓八十錢）　特製春革インデクシヨン附　特價貳圓八十錢
（正價金參圓參拾）郵税兩種共　內地十六錢臺灣樺太五錢鮮支四十五錢

文學博士上田萬年　文學博士上田敏兩先生共著

正譯英和新辭典

廿三版
袖珍堅牢一三七〇頁▲特價金一圓（正價一圓卅錢）郵税八錢
語數豐富、辭語洗練、どこ迄も氣の利きたる理想的辭典にして、使用するに隨ひ愈々其價が發揮すとは、本書に與へられたる天下の適評也。全國各中學校が本書を最良參考辭典に指定せられたるに見ても本書の信用を窺ひ得べし。世の際語君は些の躊躇なく本書を選拔し給ふべき也。

東大文科大學長文學博士　上田萬年先生著

ローマ字びき國語辭典

廿五版
袖珍堅美千九十頁▲特價壹圓拾錢（正價一圓卅錢）郵税八錢
僅々廿餘のローマ字さへ知れば毫も假名遣の煩勞なく、直ちに所用の語を見出し得て便利極りなし。加之、各語に英語を附して和文英譯の好参考辭典として最も好適なりとは、全國中等學校英語擔任先生の唱導せらるゝ所也。

各書內容見本進呈　往復葉書申込　東京神田　富山房　振替五〇一番

新學期來！辭書の選擇は諸君が能率高下の尺度也

四高敎授文學士　藤原一雙先生　四高敎授文學士　岡本清逸先生　合編（忽四版）

英和熟語大辭林

四六判一三二〇頁・特價貳圓五十錢（正價參圓）郵税十二錢

集大成的世界に比無し

譯文及行文は平易明快なる口語を以てし何人にも難解の憂なし、解釋は丁寧詳密、表面より又側面より分り易く意味を取違へざる樣に注意到らざるなく排列法は嶄新なるシステムにより檢出甚だ便利也。要するに本書は英和熟語辭典として內外大小の各辭典を一室に收せる觀の功績大也。而も索捜の勞少くして檢出の價値あり。出版忽ち本邦唯一最精の熟語辭典たる評は斯界に喧傳し、今や英語を希ふ人士にして本書を渇望せざる者なきの要の範圍愈々擴大しつゝあり

最新流行　時間正確
瑞西國製
新荷著
純ニツケル側十二形アンクル腕卷
堅牢無比
金拾壹圓
七寶裝飾入
特價金七圓
腕專用にして貴婦人用男子用に敵し最も優美なる金側懷中時計最新流行品取揃居候
京城太平通一丁目　京日代理部　振替京城三〇〇番

▲空前絶後の破格見切品
輸出殘品鉛筆
一本二三錢より四錢の品をも故郷、小賣商店に實に多大の利益ある八百本入大箱參圓
代金引換廿錢增品質本位の實用品を御需用頗多至急注文の上多大の利益を收めよ此際先著注文者には百本の有價品を一箇限り代金前請求の分は一品呈す
東京市下谷區西町四四　振替口座東京四〇參八　千秋商會

◎外務社員募集
居住地に於て爲し得る業務月收多大日特別優遇法有希望者は最近迄の履歷書封入本社外務部宛申込あれ
東京市丸の內有樂町一丁目四番地
大日本勸業株式會社

李王職
右貸却及賣受望ノ者ハ李王職會計課ニ就キ入札心得書契約書案及圖面熟覽ノ上來ル五月二十日正午限入札書ヲ同課ニ差出サルヘシ
但敷地ニ分割ス
一右地上建物
一土地約四千四百八拾壹坪
京城府松峴洞及安國洞所在
不動産賣却公告
大正七年四月　李王職

朝鮮總督府
右縣屬及石壹萬立坪ノ價格ニ付五月壹日以後ハ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

法人登記公告
一、平昌地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ六百拾八口拂込タル出資總額ヲ壹千百拾六圓ト變更ス
右大正七年四月貳拾五日登記
京城地方法院平昌出張所

洪川地方金融組合登記事項中出資總口數四百十十口拂込タル出資總額貳千參百六拾壹圓四拾錢ト變更ス
右大正七年四月貳拾七日登記
京城地方法院洪川出張所

法人登記
旌善地方金融組合登記事項中出資總口數四百四十口拂込タル出資總額ヲ（大正六年度末）ト變更ス
右大正七年四月貳拾四日登記
京城地方法院旌善出張所

◎三國代表者に送れる 勞農政府公文

莫斯科二十六日發電＝勞農政府を代表し外務執政官は莫斯科に於ける英、佛、米三國代表者に次の公文を送りたり（哈爾賓特電）

外務執政官は西伯利に於て勞農政府に反抗せんとする陰謀の發見に關する浦潮貴下を通じて英國政府に送致するの光榮を有す、發見されたる告知は右陰謀事件に對し浦鹽斯徳に於ける英、米、佛國の代表者が西伯利政府と稱する反革命團體と關係ある事の爭ひ難き事並に北京に於ける是等の國の代表者が是に干與せる事を立證せり

勞農政府の提議する處は

一、能ふ丈け且つ遲滯無く浦鹽斯徳に於ける英國領事を本國に召還せられたき事

二、能ふ丈け且つ遲滯無く北京に於ける英國公使が反革命的陰謀に關したりとの説に對し明確に調査せられたき事

三、英國政府が露西亞聯邦共和國に對し其の代表者が斯の如き疑はしき關係に立到らず露國の內政に干渉せざる事を宣明せられ度事

右は英國側に送られたるものなるが同一の公文は米、佛代表者にも送致せられたり猶之と同時に外務執政官は勞農政府を代表し在莫斯科日本代表者に次の公文を送りたり

外務執政官は西伯利に於ける日本領事並に其の公の使命を帶びたるもの丶行動に關し發表されたる公文書を送致し日本政府に次の如く傳へられん事を希望す

日本政府が在ペトログラード並に莫斯科日本代表者に對し露國の內政に干渉することを嚴禁し居る事は再三確められたる事なり而して此聲明に反し日本國民並に官吏が露西亞聯邦共和國に反抗する反革命的分子に對し直接參加する事無かる可しとは再三吾人に宣明せられたる處なり然るに發表せられたる爭ひ難き證據に依れば日本政府が目下露西亞に於ける反革命に援助を與へ居る事は一點疑ひを容るゝ餘地なきを以て直に夫等代表者の行動を明確に調査し以て其罪を示し本國に召還せられん事を希望す

◎英佛軍奮鬪

ケメル山大激戰の詳報

軍事信通員の報道に據れば獨軍山地兵四個師團はケメル山頂の佛軍守備隊を包圍し多大の犧牲を拂ひて同地を占領したり敵軍は今や同山脈上の次の高地なるシエルペンベリーを攻撃しつゝあり佛軍は能く敵軍の猛襲に耐へ英軍は兩側面にて奮戰せるも獨軍は夜間霧に乘じてケメル山を攀ぢ登りたる爲めケメルの左側の英軍の一隊は遂に攻撃の當初に於て包圍せられたるもの丶如しロイヤルスコット、カメロン及びブラックウオッチ兵は終日奮鬪して敵に極めて多大なる損害を與へたりケメル丘上の佛軍守備兵は死を決して其陣地を固守す可しとの命令を受け居たるが守備兵は此命令に服從せり斯くて守備兵が山麓に押寄せたる敵の爲めに孤立せしめられたる後白兵戰繼續せり（倫敦近電）

◎石井大使

石井大使は廿六日華盛頓に到着せり（東京特電）

◎外相大使協議

後藤外相は二十九日午前十時登省內田大使を招致し大臣室にて長時間協議し大使は同十一時辭去した（東京特電）

◎栃內海軍次官

栃內海軍次官は二十九日午前十時外務省に幣原次官を訪ひ長時間協議する處ありたり（東京特電）

◎在鄉軍人見學團

川崎大佐以下二十六名の東京在鄉軍人見學團は廿八日夜來長せるが廿九日夜六時より官民有志の歡迎會に臨み同十一時の列車にて南下の筈也（長春特電）

◎有賀理事南下

有賀三井理事は廿八日夜吉林より來長廿九日朝七時南下せり（長春特電）

◎間島澱粉好望

間島に於ける諸事業の發達と共に馬鈴薯の生產も無視すべからざる某所の調査に依れば……拉子地方八十萬貫、其他の地方に產するものを合すれば每年約千七百萬貫の生產ありと而して其一失ありとし目下試驗中にあるが……粉事業を開始せり然るに原料は頗る……んとする有力者あり兎に角馬鈴薯の豐富なる間島にありて澱粉企業の如きは將來好望なる事業に算へらるべし（東京）

僅かに一萬石內外なりし在米が例年に倣ひ支那方面取引に依る輸入が四月中旬より逐日激增を示すに至れるものにして……日の在米は……黃海道米作は昨年三割減……なるにも拘はらず斯くの如き多量……

◎外米輸入船腹

船腹は容易ならん

農商務省にては既報の如く二十五日米價調節の手段として外米輸入に關する新機關を設置すると同時に管理規則をも公布したるが右外米を運搬すべき船腹問題に關し內田遞信次官は過日仲小路農相に會見の際非公式に目下農商務省にて考究中なれば決定の上は船腹とも非常の關係あるを以て豫め了承せられたしとの談話を受けたるのみにて未だ何等の交渉に接せざるも近く正式の交渉あるべきを豫期し居れり而して之に對して採るべき本省の處置如何に付ては勿論農商務省が如何なる程度迄運賃等を補給せんとするや其他の細目に付き具體的に其根本方針を知りたる上ならでは決定し難き所なるが要するに船腹は別に餘裕ありと云ふにあらざるも運賃等の狀況に依り如何樣にも船繰の付くものなると同時に原產地に於ても敵國側に流入するの虞れあるものに對し輸出を禁じ居る等の關係上多少の推米を告げ居る模樣なれば運賃等の補給にして適當なるを得ば外米輸入は至極容易にして且つ安價なるを得べし併し乍ら適當に運賃を輕減し得ず船主の負擔を重からしむるが如きことあるに於ては外米輸入も案外高價の代價物となり折角の米價調節も其目的を達し能はざるに至るべく此點は充分注意を拂ふべき必要あるべしと語れり（東京）

◎外米管理規則と鮮米

除外は當然の措置＝某有力者談

外米管理に關する從來の報道に依れば、政府は朝鮮米臺灣米をも管理することに成るやも知れぬといふのであつた、處で去二十六日農商務省令を以て發布されたる外國米管理規則を見るに、其の第一條に『外國米は農商務大臣又は農商務大臣の指定したる者にあらざれば輸入又は移入する事を得ず』とある、之を前の報道と對照すると、此移入は即ち朝鮮米や臺灣米を意味するものではないかと

▲誤解され易い が外國米であるからには朝鮮米を其內へ入れるのはチト可笑しい、蓋ふに之れは朝鮮に輸入した外米を、更に內地へ移入する場合を想像したものであらう、夫れで朝鮮米は外米管理規則中に包容されて居ないことは判つたが、唯氣にかゝるのは將來或は同規則に追加されると云ふことが有りはせぬか、仲小路農相の談話として前日某紙にも掲載されてあつた通り、朝鮮米をも管理することに成るかも知れぬといふことだ、朝鮮に取つては實に

▲重大問題で ある、政府側から見れば今日既に移入稅は廢されてあるし、米質も內地米に劣らぬのであるから、多額の補償金を與へて、內地米との値開きを多くする必要もあるまいし、甚だ便宜ではあらうが、若し農商務大臣の指定せる商人のみが買付けをすることに成れば、朝鮮の貯米者は値段に對して疑惑を生ずる、隨て買惜みをする、消費量が增加する要するに決して好い結果は生じない、然るに往年內地に於て外國米の盛に需要されたときは內地米との値開き八圓內外であつたさうな

▲貨幣の價値 落下したる當今では、十圓以上の値開きで無ければ、或は農民以外の需要は起らぬかとも危ぶまれる、萬一にも此想像が中る樣なことがあつたら政府は向を變へて朝鮮米管理を斷行しはすまいか、實に氣遣はしい次第である、吾輩は此際政府が外米管理の效果を收め得るに十分なる補償金を交附することを希望する

◎鮮米移出餘力

約六七十萬石乎

朝鮮米の輸移出能力は大正四年並に五年に於ける產米の例を見るに約百五六十萬石の間を往來し居れるが大正六年產米も略同額の移出能力を有するものとし今後何程の餘力を存し居れるやと云ふに某消息通の觀測によれば六年產米の昨年十一月より二月に至る輸移出數量は七十二萬五千石にして之れを五年產米の八十六萬石四年產米の九十五萬石に比すれば頗る減じ居れり三月並に四月の移出數量が幾何なるかは未だ不明なれど恐らく四月末までに約百萬石と見るを至當とし結局今後の輸移出能力は六十萬石內外なるべきも昨年並に一昨年に於ては鮮米の露國移出十萬石以上に上りしも本年は露國仕向大に減少し居れるを以て結局鮮米の內地仕向は前年並に前々年より增加すべし

◎京畿 賦課金狀況

大正六年度京畿道地方費賦課金徵收狀況を聞くに左の如し

▲地稅附加稅 三萬六千五百三十九圓の調定額に對して三萬六千…百五十圓の徵收あり此收入步合九分九厘八毛

▲市街地稅附加稅 一萬○三百四十八圓の調定額に對して一萬○三百十一圓の徵收あり此收入步合九分九厘五毛

▲市場稅 六萬…千○七十三圓の調定額に對して四萬一千…百六十圓の徵收あり此收入步合…厘四毛

▲屠畜稅 三萬八千百四十五圓の調定額に對して三萬八千八百四十五圓の調定額全部の收入あり

◎朝紙創立總會

朝鮮紙株式會社にては二十八日午前十時より創立總會を明月館支店に開き役員選擧を行ひたるが取締役に吳就默、白潤洙、朱性根、朴弘植、…宗鎬の五氏、監査役に趙重應子、鄭泳昌氏當選せり

◎朝郵專務互選

朝鮮郵船會社にては豫報の如く三十日午後一時より樓上に於て株主總會を開會第六期後半年度の決算案を附議せし後役員全部の改選を行ふ事となり居れるが取締役中會長は總督の命令する一取締役就任するも專務取締役は取締役會の互選する由

◎床次氏等來鮮

政友會領袖床次竹二郎同會代議士瀧正道の兩氏は支那視察の途五日東京發來る七八日頃來鮮する由

◎古阜水利增費

全北古阜水利組合の事業は本年六月竣工の豫定なりしも諸物價の騰貴に伴ふ材料の昂騰並に賃金の騰貴あり豫定の五十四萬圓にては不足を感ずるを以て約七八萬圓を增加するの止むを得ざるべく目下役員會を開き協議中なるが從つて其の竣工も遲延すべき形勢なり

◎永沼中將講演日程

大田以南に於ける永沼中將の講演日程左の如し

▲第一日（四月三十日）午前八時四十分南大門發午後零時二十八分大田着午後講演大田宿泊▲第二日（五月一日）午後零時三十三分大田發同四時九分大邱着夜講演大邱宿泊▲第三日（五月二日）午前九時廿五分大邱發午後零時十五分三浪津着同二時一分馬山着午後講演馬山宿泊▲第四日（五月三日）午後一時馬山發同二時鎭海着午後講演午後六時鎭海發午後七時馬山着馬山宿泊▲第五日（五月四日）午前九時五分馬山發同十時四十二分三浪津着午後零時二十七分三浪津發同二時二十分釜山着午後講演

◎陸大視察團一行

滿洲戰跡其他視察の爲め渡滿すべき陸軍大學生五十五名職員其他十五名の一行は五月二日着邑三日より旅順、金州、得利寺、大石橋、營口、遼陽、沙河、奉天、公主嶺、長春、四平街、鄭家屯、撫順、本溪湖、哈蟆塘等の各地を視察し二十一日安東を經て來鮮すべし

◎段總理北京歸著

段總理は二十八日午前六時二十分津浦鐵道特別列車にて南京より濟南に著し張山東督軍代理の出迎を受け同六時四十五分同地を發し北上北京に歸著せり（北京特電）

◎廣西軍廣東省侵入

廣西軍は南軍を破りて廣東省に侵入しつゝあり（北京特電）

◎廣東討伐司令官 出發

李厚基氏は廣東討伐司令官として二十七日廈門に向け福州を出發せり（北京特電）

◎大阪財界便り

◎鈴木の製粉輸出

神戸鈴木商店の製粉輸出は去る十四日天山丸にてポートサイドに向けて五千噸を輸出する筈なりしも積荷船の都合にて延期し此程出帆せるが同社今後の製粉輸出は東京方面より積出す由なれば製粉原料小麥の氣丈なる折柄在荷の減少と相俟つて製粉市場は頗る浮動高下を脱する能はざるも同店の東京方面より製粉積出の上確か斯界に一變動を與ふるに至るべく觀測されつゝあり

▲砂糖市況一般

尺進寸退の步調を以て高値に進みたる砂糖も流石に需給關係を無視して奔騰する能はず高値待に利喰物現はれて下押し十八日は分蜜糖十六圓五十錢と引返し市況閑散なるが七八月頃より瓜哇糖の輸入と共に當然低落を見越され居れるにも拘はらず目先買ひ氣旺んなれば尙一高一低の裡に高値に上進すべしと

▲大阪物價騰貴

大阪商業會議所調査三月中の物價は品種七十九種中騰貴せるもの大豆、醬油、牛肉、鰹節、原棉、綿絲、木綿、甲斐絹、燐寸、石油、板硝子、肥料類等四十種下落せるもの鐵、洋釘、鞘、生漆等二十三種保合十九種にして前月の物價に比し二步七厘の騰貴也

▲清凉飲料好況

清凉飲料水は昨年末一圓方の値上をなし昨年に比すれば三割強の高値にあれど一般好況の爲め賣行き激增し本年に入りてより昨年の二倍の賣上げを見前途益々好況なるべしとの事なるが一方輸出も朝鮮、支那、臺灣には漸次增加し居れるも南洋方面は船腹不足の爲め註文輻輳し居れるも出荷する能はざる狀態にあり只小規模の同業者は競爭激甚なると瓶箱其他包裝品の昂騰甚しき爲め苦境にあり夏季に向ふと共に競爭甚だしきものあるべし

▲海產物不況

乾物市況は海外輸出の不振と相俟つて海產物市況は最近高値より二三割安の不況を示し居れり即ち二番鯣は三圓安の廿八圓見當乾鮑並に海鼠二割安等なれば獨り貝柱のみは昨年の不漁と端境期の爲め品不足に從り成行きを辿り居れども本年の悲態如何によりては餘り上向きを許さゞるかに似たれば之とても樂觀するには當らず總じて市況は目先尙弱含みを一般に期待せられつゝあり

▲セルロイド軟弱

セルロイドは露國への輸出全然不能となりたると米國側の法令の爲めに製品の輸出を制限せられたる爲め原料の需要頓に減退しトロ一噸六十五錢見當に低落を見るに至れり（大阪支局）

◎俞參與官出張

京畿道參與官俞猛、抱川、加平各郡管內狀況視察の爲め往復十五日間の豫定を以て二十九日出張せり

◎水野氏移轉

京城警務部保安係主任警視水野清氏は此の程南米倉町二百四十番地に移轉せり

◎鐵道院驛名改稱

鐵道院にては五月一日より草津線大原驛を大原市場と改稱せり

人

▲辻仁作氏（東京木綿商）廿九日夜入京旭屋へ

▲後見正氏（橫濱原合資會社員）同上

◎百聞百種

近頃英國には豚指揮官と云ふ珍妙な役人が出來たとの事▲又同國の小學校では校內へ豚を飼つて生徒の辨當の餘りや何かで養ふ事を始めたと云ふが之は面白い事で朝鮮邊でも實行して見ては何うだらう▲兎に角英國では豚の不足で大分弱つて居るものと見ね近著の英國の新聞には豚のことの書いてないとはない▲大戰爭で種々の新武器が發明せられて居るが今度伊太利の一海軍技師の發明は却々珍なものだ▲其は軍艦の鋼鐵裝甲の代りに鐵筋コンクリートを用ひる考案である▲其案によると軍艦を三重に圍うて一番外側のものに多くセメントを用ひ化學的處理に依て凝固せしむる計畫であつて▲材料としてはポートランド、セメントと砂と玄武岩若くば斑岩の粉末とが指定されて居る相な▲日本では昔カチ／＼山で狸の土船があつたとかイヤ大分危險だが▲船鐵成金はヘエーと大分首を捻るのだらう

昨年末迄の英國及其他聯合中立各國船舶被擊沈船の數は千百八十二萬七千噸にして之を同期間內に於ける建造噸數六百六十萬六千噸……

	英國	其他	合計
一九一四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一九一五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一九一六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎小火

二十八日午後八時半頃京城梨花洞三十六番地宋賢瑞方の煙突より漏火して大事に及ばんとしたるも直ちに消し止む

生活 五月號 博文館
斷食失敗記……今村繁三
東大醫科評論……出身者
內外新聞界珍聞集……岩田二子
獨逸人の日本研究……刀水客
復活したる二井の二重役……
癌の話……醫學博士 山極勝三郎
豆粕飯を獎む……前京都市長 井上密
日本人の標準食糧……醫學博士 岡…
一日の…
現代世相と婦人の覺醒……龍川龍作
大なる哉我神戶市……安部磯雄
ケチ臭い東京市民……
江戶上水の史蹟……宮川…
淀屋辰五郎の財產……
ノンキ過ぎる國民……片上伸
豫言者……齋藤義雄君
田尻北雷先生奇行錄
命がけの脫船記……吉田眞由
定價三十錢 郵稅二錢 東京本町 振替二 京橋四 博文館

中元源五郎氏は本日限り弊社と一切關係無之候に付今後は總て左記へ御引合被下度願上候
大正七年四月廿七日
東京市麹町區有樂町一丁目一番地
バブコック、エンド、ウヰルコックス株式會社

婦人畫報
（五月の巻）大好評
▼新綠（二頁大十五度刷美人畫）栗原玉葉
花あやめ（額面用原色版）
相談に來る婦人……新渡戶博士
戰爭のために挑める犧牲（長瀬ドクトル）
變つた風習を持つ朝鮮婦人（小宮前次官）
乳粉や重湯で子供を育てる危險……豊福博士
婦人のお化粧ぶり……
床の敷物は何がよいか……
今月は衣類の整理月……
家の柳（輕妙な名篇小說）……巖谷小波
廉賣市を開いて……
男子も謙讓の心を持て……
個性を本位とした圖案の要求……
長篇小說 源氏車……渡邊霞亭
熱のある初期肺結核患者に……
端午の節句料理……
長篇小說 須磨子……菊池幽芳
定價四拾五錢 郵稅五錢
東京京橋區彌左衛門町 振替四千九百番 東京社

東京電氣博覽會に於て大賞讃を博しつゝある
神東 電熱器
電氣ストーブ、風呂、アイロン、湯沸、タンポ、吸入器、ハンダ鏝、ホツトプレート、其他電氣を應用すべき總ての電熱器
一手販賣 京城府太平通二丁目二百二十六番地 株式會社常盤商會朝鮮營業所 電話長五七六番
▲型錄御申越次第送呈可仕候

左官建築材料
セメント石灰、硅藻土、火山灰、左官材料、一式砂、各種色土、布海苔、苆、左官用、東京鏝、煉瓦用、東京鏝、建築材料種々、各種耐火煉瓦、煉瓦、土管、瓦、コールタール、コークス
京城旭町一丁目二七 戶澤商店 電話九八四番

鑛區鑛石買入
鐵鑛、亞鉛鑛、銀鉛鑛、銅鑛
右の鑛種に對し鑛區賣入（許可鑛區先願權）
金鑛石、亞鉛鑛石、銀鉛鑛石、銅鑛石、重石、水鉛
右の鑛石多少に不拘買入
鑛山用諸機械器具及鑛石叺販賣
京城府御成町七番地 正已鑛業所 熊谷忠直 電話長三一二三番

新田式耐水調革
朝鮮總代理店 黃金町四丁目 白神洋行
新田帶革
京城南大門外 白神洋行支店
新田ベルト調帶

山陽電氣商會
電氣瓦斯機械器具、各種電線絕緣材料、電燈、電力、電話、電鈴、表示器、避雷針製造販賣
京城黃金町二丁目 電話一四二五

川合時計店
京城本町二丁目 電話二八一 振替京城三九
賣出中 電燈

金剛山繪葉書
京城日報社代理部

…ば群山地方百四十五萬[illegible]、黄海道地方百七十三萬[illegible]、東萊[illegible]地方百六[illegible]、[illegible]地方白入十萬[illegible][illegible]十萬[illegible]、[illegible]地方[illegible]

[illegible]大なるものにて之れが利用は看過すべきにあらず[illegible]に於ては邦商[illegible]くも眼し小規模の工場を設け[illegible]

[illegible]によれば粗製品を日本に輸送し精製するとするも優に利益を打算し得べしとありて他にも亦製粉事業を兼ね澱粉製菓に手を染め[illegible]

●鎭南浦在米 [illegible]る最近在米高は(籾は玄米に換算)[illegible]萬石に達し此外雜穀二萬[illegible]に達し居れるが道は對岸黄海道物[illegible]の殖旺盛なる爲にして三月初旬[illegible]的貯藏と內地取引不引合並に輸送難も一原因を爲したるに依るものなるべし尙今後の廻米豫想は買付品を合して尙四五萬石なるべく[illegible]

寺内首相の病氣
夫人と共に段々佳い方には 向ふが未だ油斷は能きない

櫻が散つて雨の日が續く溫かい日から寒い日へと、隨分近頃の氣候は不順である氣になつた外相の役目は定つたが病氣引籠中の寺内首相は昨今何うであらう

◆内閣に出勤 の出來るのは何時頃であらう麻布の首相自邸を訪ふと自動車も近頃暇と見えて此の雨の日にタイヤも白く乾いて居る應接間には誰やら一人面會に來て居るやうであつたが雨に淡暗い部屋で首相副官は語る『首相の病氣も大分良くなりましたが何樣近頃の氣候不順では

◆官邸の方へ の出勤も直には出來ますまい平井病院長に近々出勤しても良いか惡いか聞く筈ですが私等の考へでは少し氣候の定まつた時分からに勸めたいと思つて居ます近頃の一日は公用の訪問者に面會する位で寢たり起たりといふ位で朝など少し庭を見に出ることもありますが物を持ち上げたりすることは

◆厳禁されて 居るので只見るといふだけです氣候も聽ては定まるでせうし孰れ近い裡には出勤出來ると思つて居ます夫人も段々良い方ではあるが矢張り氣候不順でスグといふことは出來ません(東京)

日本の美點を 亞米利加の少年少女へ 傳へませう—
と近く歸米するハーデー翁泣いて喜ぶ

ハーデー翁は愈々五月九日橫濱發の便船香取丸にて歸國することに定つたので二十七日午後二時より東京青山學院長高木壬太郎氏發起となり學院に於て翁のために送別會を催した滯在五箇月その間各地で受けた

◆厚い歡待 を思へば流石に名殘の惜まれてか翁は老の眼に感激の涙を宿しながら『私が十一月に日本へ著いてから各方面で受けた親切は譬やうもない深いものだつた、卑賤なる

◆一水兵の 身を以て辱くも親衛の御宴に召されたことから、全國到る所で熱い歡迎を受け殊に小學校の生徒が日米の國旗を携へそれを打振り〳〵ハーデーオヂーさんと呼んで莞爾して迎へてくれたことや名もない片田舍の

◆老婆から 澁茶を惠まれた事などを思ひ浮べると一として感謝の種ならぬはない、私は今度ポートランドの募兵事務所の指揮官たるエハート大佐から急いで歸れとの命令に接して

◆歸國する やうになつたのですが歸國すれば本國の少年少女に日本の美點を親しく紹介して日米兩國の交誼を更に强くしたいと思つてゐます』と眞に感慨無量の體であつた(東京)

ハーデー翁

姉に叱られて 少女入水
漢江に漂流中を危ふく救はる

京畿道始興郡北面本洞里所在京城朱乘殷子爵別莊の管理人朴[illegible]丈次女が二十二日午前九時頃附近の漢江岸を見廻り中

△女の屍體 らしきが漂流し居るを認め、直ちに飛び込みて江岸に引揚げしに十四五歲位の內地人少女にしてドウやらまだ助かりさうに見えしより水を吐かせて人工呼吸法を加へし結果辛くも蘇生せしを以て自宅に擔ぎ込み醫師を迎へて手當を施し取調べの結果少女は本籍廣島縣福山町當時京城

△南米倉町 の雜貨商神藤永四郎方に同居中の水元ちよ(一三)と言ひ、神藤の妻が實姉なる關係上寄寓し居るものにて全く覺悟の自殺を果てんと同日午前八時半頃無斷家出し電車にて新龍山に降り漢江橋を渡り前記の

△別莊脇より 入水したる旨申述べたり尙現場附近の汀には帛紗一枚を遺しありしが原因不明なるも何か姉より小言を受けしを痛く立腹して此の無分別を企てしものゝ如しと急報に接し家人が馳けつけ目下自宅に引取り加療中

貯藏法の新發見
風味芳香共に衰へず

(座談)

◆先般米國で食物貯藏法上の重要な發見をなして政府に其の採用方を願ひ出たものがある相である其れは蔬菜果實類の水分だけを拔き取つて其の容積と重量を減じ運搬貯藏に適せしめるのである此の方法の特長は普通の乾燥法とは違つて其の品質、風味、香氣等に何等の變化を與へないと云ふ點に存する其の方法の詳細に就いては秘密に屬するので發表せられないが從來の水拔き法は外部から力を加へて行ふのとは全く反對ださうである◆今蔬菜果實に此の法を施すとすると蔬菜果の中から水分丈けを悉く拔き取つて其の他の部分には何等の變化も與へない、そして食事に[illegible]際に其れを清水の中に浸してから三時間經ると採り立ての時と同樣な形になり風味も芳香も全く新鮮なものと變はない樣になるのである◆此の程華盛頓のフラアイエットホテルで此の方法に依つて貯へた果實、蔬菜の試食會が開き米國政府の役人も出席して之を試驗したが非常な好評判であつた其の時試驗した蔬菜果物は甘藍、甜菜、馬鈴薯、胡蘿蔔、[illegible]等であつた◆尙此の方法は蔬菜のみならず魚肉、海老肉、貝類、獸肉の如きものにも應用されるので此の發見に依ると貯藏運搬の手數が省け從つて多量の取扱ひが出來、僻陬の地に在る人にも[illegible]な食品が供給せられるし又[illegible]好物を口にすることが出來ると云ふ事だ

朝鮮海峽橫斷飛行
川上中尉の計畫

陸軍航空隊教官飛行中尉川上親孝氏は民間飛行家及び自動車運轉士養成の目的を以て昨年十月獨力にて東京府下大森新井宿に『帝國飛行學校』を設立し專心生徒を指導中なるが資力なく孤立無援の氏は飛行機を求むること困難にて氏獨得の手腕を現はす機會なく今日に及びしが氏は萬難を排し先月中旬飛行機一臺を購入し目下發動機試驗と機體製作中にて五月中旬機の竣工と共にこの天禀の妙技を振ひ帝都訪問飛行を初めとし引續いて東京廣島間を一氣に突破し續いて朝鮮海峽の橫斷大飛行を決行すべく目下寄附金を募集し居れりと

活氣づいた各部屋
朝潮の元氣と滅法强い雷ケ梅

大鳴門浦ノ濱一行並びに朝潮瀨高山一行は既に歸京し大錦西ノ海栃木山一行及び鳳千葉ケ崎の一行亦廿七八日中には歸京する筈で江東

◆兩國界隈 は昨日今日俄かに活氣立つて特有の相撲氣分が漲つて居る各部屋々々に勇ましい力足の響きを聞くのは例に依つて五月五日の番附發表間際か早くも月が替はつてとあるが春場所後數ケ月の地方巡業等に元氣を養ひ稽古を精勵して來た先著組の若手力者連は轉た

◆髀肉の嘆 に堪へやらで此處一日も忽せにすべからずと雷部屋高砂部屋の双方とも廿六日の朝から早駒らしの稽古を始め出した、雷部屋は鬼鹿毛が中心となつて魁、雷ケ梅、西ノ梅等の青年連が盛んな申合ひに玉の汗を流す勇ましさ就中三代目梅ケ谷を以て期待さる丶六尺四寸の

◆雷ケ梅の 進步發達は實に著しく同輩で殆ど齒の立つ者のない有樣であつた稽古場の上に在つて相變らず門下の稽古を嚴重に監督しつ丶あつた親方雷は各力士の取口に一々批評を加へ且懇切に示敎して倦なかつたが最後に別に雷ケ梅を呼んで『お前は夫れだけの大きな身長があるのだから何も慌て丶チョコチョコ突ツ張らなくてもい丶

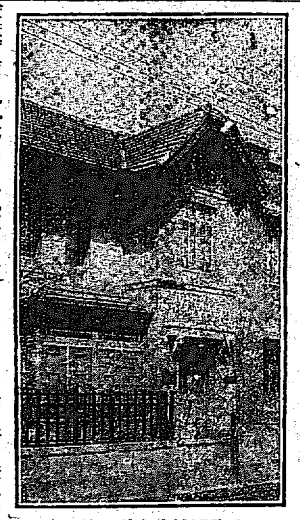
◆太刀山關 の鐵砲のやうにもう少し大きく突張つて敵手の胸を攻めるやうにして見ろ大抵の者は夫で參つて了ふ』と突張りの骨法を敎へた、高砂部屋では大將の朝潮が副將瀨高山を敵手に十數番申合つたが朝潮は評判に違はぬ非常の元氣で瀨高が懸命になり打突かつて何程元力に取りこなしても綽々たる

◆餘裕を見 せて縱橫に是れを擊破する容態見るからに雄々しく返り咲きの活躍さこそと期待さるべきものがあつた

明治公債と其事業

明治公債株式會社にては內地、朝鮮、布哇等は目下蒲期公債滿洲にては目下賻與債券著々交附中にて一般に會社の堅實なる業務振を周知する時代に入り信用日に增し從つて新募集は

▲累月向上 を示しつ丶あり各地方別に見れば朝鮮、北海道、名古屋、中國、大阪、九州、布哇は例月優良なる成績を擧げ滿洲は昨冬以來漸次好調に向へり今回大連に在る同社の滿洲支店に於て朝鮮及び新開地全般を統轄する事となり同會社取締役岩田米吉氏總支配を爲し事業に々振興の域に入りたり



明治公債株式會社大連支店

▲同會社は 本社を東京丸の內有樂町一四番地に置き現今駒林廣運氏社長たり水品藤一郎氏專務取締役たり資本金二十萬圓にして營業科目は公債其他有價證券の賣買並に其仲介金錢の貸付及び仲介及び公法人又は私法人債の貸付及び仲介等にして大正二年六月九日の創立に係り同社の重役は

△社長取締役駒林廣運 專務取締役水品藤一郎 營業部長取締役市瀨浩治 取締役永田峰吉 蒲洲支店長兼朝鮮營業部長取締役岩田米吉 監査役羽田新 同千葉辰次郎 相談役宮川正雄 法律顧問近藤法學士の諸氏なり滿洲支店は大正五年六月開設せられしが岩田取締役支店長として著任し

△朝鮮店務 を擴張し大連三河町三十一番地に壯大なる店舗を構へ營業部を兼ねたるは大正七年二月一日なりとす公債契約高は朝鮮に於て約五百萬圓滿洲に於て約二百萬圓とし其他各地方の分約一千萬圓の契約高あり僅少なる金圓を割賦拂込みを爲して帝國公債の購入を爲す事の有利なる事は今更に述るまでもなき事なるが猶

▲特別なる 獎勵方法設けられ勸業債券及び貯蓄債券を景品として額輿し且つ拂込金を擔保として低利に資金の貸出を爲す方法も定められ居れり之れに由つて大にしては正貨の流出を防遏し外國公債を償還し內國公債分布の均平を促進し小にしては各個人をして簡易に公債を所持せしめ其の富を積ましむる事を得べきなり(廣告)

若狹丸隔離
乘客に腦脊髓膜炎發生

伯西爾行移民千八百六十四名を積せて二十七日門司港出帆の筈なりし郵船若狹丸は乘客中より神奈川縣人三名の腦脊髓膜炎患者を出せしより同室にありたる五百名に對し消毒を行ひ目下彥島防疫所に隔離中にて出帆未定なり(門司特電)

◎奧村女史講演 鎭海一心寺の奧村伎子女史は目下入京中であるが一日夜及び二日は晝夜二回南山本願寺に於て講演をなす可く演題は『今昔の感』『五尺の身體』なり

◎詐取して遊興 栃木縣都賀郡中村生れの田波吾三(二三)は京城鍾路二丁目金山時計店に雇はれ中吉田某の名義を利用し黃金町一丁目の森某より現金十八圓を詐取したるを手初めに外一個所よりも二十圓を騙取し尙主家の時計指輪等數個を月賦販賣すると稱して持ち出し悉く入質して遊興消費したること發覺し啓三は本町警察署にて取調べの上檢事局送り

◆演藝畫報押收 五月一日發行の演藝畫報(第五年五號)は風俗壞亂として押收さる

家畜病院
患者は犬が一番 多い次は馬車馬
‖年頃の娘さんが血塗ぶれの屍骸を抱へて驅付けた‖

若草町の曹洞宗別院前に矢野と云ふ家畜病院がある犬猫牛馬鷄など家畜一切の診療は無論狂犬病の豫防注射もやれば調敎もやる警察部廳に奉職する獸醫で本職の

◆片手間に 家畜の診療に從事する人は是迄にも尠くなかつたが兎にも角にも病院の體裁を備へ專門に家畜の診療やら調敎やらを試みるところは此矢野病院が始めてであるが然かも京城に初めて出來た位だから朝鮮としても恐らく之が初めてであらう外に類がなくて便利なところから却々好く流行る院長は一人で

◆轉手古舞 をして御座る患者の中一番多いのは犬で每日十頭內外は新患者が詰め懸ける相な『昨日から少しも御飯を食べませんから診て下さい』とか『俄かに跛疾に瘦せました』とか云ふ調子で飼主が連れて來るのだが時には電車に轢かれたのだと云つて年頃の娘さんが血塗れになつた屍骸やを抱へて泣く〳〵驅付けて來る事もあると云ふ犬に

◆多い病氣 はジステンパーと言ふ一種の熱病である之は却々癒り難い病氣で下手をすると遂には肺炎を併發して死んで了ふ次ぎは黴毒で殊に交尾期になると恐ろしい勢ひで傳播する相だが此外心臟病だとか下痢だとか云つた病氣も尠くない矢野病院では之等の病犬が來ると

◆聽診器や 檢溫器を使つて人間同樣に診察し其症狀に應じて夫々投劑するのだが何しろ相手がモノを云はぬ畜生なので總てで苦心も自然此處にあると云ふ今の小兒科の醫者と同じやうなもので設備が不完全なので一時に多數の犬を入院させる事は出來ぬが二三頭位なら何時でも入院は

◆望み次第 現に同院では大門通りの荒井藥房の犬を預つて居る之は心臟病で見る影もなく瘦せ衰へ絛々呼吸をする事さへ出來ないで死にかゝつて居たのだが入院以來メキ〳〵と健康を恢復し今では又以前の

◆立派な姿 となつて元氣に跳ね廻つて居る、患者は犬を除くと牛馬が大部分を占めて居る昨今は馬車の働き場所が多く從つて馬車馬は市中ばかりでも百を以て算へる位だが物價騰貴で糧食も充分に當てがはず無闇に酷使ふ故か癩痛で斃れる馬が尠くない馬車屋は一樣に

◆大恐慌 を來して居るが之などは一回の注射でケロリと忘れたやうに癒つて了ふ相な家畜の爲めには誠に便利で重寶な病院と言はねばならぬ尙同院では家畜の去勢術もやつて居る去勢術を施された家畜は單に柔和しくなるのみか非常に

◆肥滿する のが常で鷄などは施術後一箇月も經つと忽ち二三百匁目は重量が殖ゑて來ると云ふ話し

世界船舶增減
擊沈船千百萬噸

英國海軍省公報に依れば開戰以來[illegible]比すれば差引五百二十二萬一千噸の船腹喪失を示せり即ち左の如し(單位噸)

▲擊沈船

	英國	其他	合計
一九一四年八月以後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一九一五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一九一六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一九一七年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

[illegible]同六十六番地[illegible]方にて二十六日午後六時五十分頃[illegible]妻某が水汲みに行きたる隙に小兒が火弄り[illegible]

購買入札
特等米七十二石外二點
右購買ス詳細ハ大正七年四月三十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

懸賞 川柳俳句俚謠募集
第四回 應募規定は必ず三錢切手封入し要新聞名記載
▲東京小石川大塚 主催 家庭讀書會

最新刊
書名 著者 價
動物學提要 飯島魁編 定價拾貳圓
國史の研究 各說の部 黑板 五、五〇
新 春 島[illegible] 藤花 一、六〇
人世 [illegible] 天下[illegible] 九〇
代表的日本人 [illegible] 一、三〇
地理敎育の方針及[illegible] 西[illegible] 八五
大英遊記 半球周遊 合本縮刷 [illegible] 一、三〇
カイゼル陛下が[illegible] 縮刷 [illegible] 七〇
日本征服[illegible]の日本帝國 [illegible] 一、五〇
[illegible]されてから 松平[illegible] 一、二〇
最新 朝鮮地理 藤田[illegible]著 定價貳圓
[illegible]珍[illegible] 七〇
誰にも分る姓名の判斷 [illegible] 一、〇〇
急がば廻れ [illegible] 一、二〇
トルストイ書簡集 石田三治譯 六〇
これは面白い旅の道ずれ 東道の主人 五五
新世の中 [illegible] 一、一〇
世界童話集 東洋の巻 [illegible] 一、三〇
中央佛敎特別號 現代佛敎研究 定價九十五錢
大阪屋號 京城本町通六八四 二〇八六振京城二五七三

京日案內
普通 一回前金五十錢 番外 一回前金[illegible]
▲申込後中途掲載中止の節は料金不返戻
▲六回以上の前申込は料金割引のこと
▲御照會は必ず返信料にあらざれば御答せず
電話貸物あり御希望の方は電話二二〇三番へ 吾鄕 33

看護婦至急入用 希望者は本人至急來談あれ 龍山元町一丁目 幾野內科醫院 29
募集 專賣特許癩病根本治療器販賣員拾名募集す 城本町二丁目 朝鮮新療法研究所 28
▲外交係至急募集 希望者は履歷書送れ面會日通知す 京城長谷川町八六西崎方 29
店員入用 十七八歲以上廿歲迄 新龍山電車終點前 龜屋雜貨店 27
店員 十八以上廿五歲迄市內に保證人ある者壹名入用 希望者は履歷書携帶來談あれ 京城旭町一丁目 食糧品市場 32
勸業債券高價買入 六十八回新債券買出し、舊債券と御交換も可致候 大平通一ノ一三 電話二七九三番 朝鮮產業社 17
舊恩給 月一步二厘五毛迄利子 立替四ケ年半迄本人 有價取引 長電二五 櫻井町一ノ九八 博多屋本店 3
恩給年金立替 五年半 三年分迄無保險 京城若草町 金先敎會裏手 電話二三九一番 國江商會 0756.9
花 朝顏名稱付花今が蒔時 優良蔬菜種子、桐苗、草花、西洋草花 京城旭町一丁目 振替京城四八四七 農藝時報進呈 洪農園

急告
右今般咸鏡南北道各地代理店出張所設置ノ爲出張爲致候ニ付此段謹告仕候
社員監督 岡田正美
東京日本橋本船町二十四
大日本信託合資會社
社長 伯爵 小松重春

電話番號變更廣告
代表番號 六〇一〇番
右五月一日ヨリ變更致候
朝鮮銀行

電話番號變更廣告
廢止番號 一五二一番 一六〇番
二〇一番 六七六番
新設代表番號 六〇〇八番
右五月一日より變更致候
京城電氣株式會社

●電話變更廣告
廢止電話 長三五二一番 一五六九番
二六三二一番
新設電話 長六〇一二番
右の通り五月一日より變更致し候間此段謹告仕候
京城 三越吳服店

電話番號變更廣告
舊番號 長一八六二番 六四六番 二二三九番
代表的電話 長六〇一一番の一 の二 の三
右の通り五月一日より變更致し候
京城南大門通一丁目
株式會社 漢城銀行

●電話番號變更
廢止番號 新設代表番號
三四五番 六〇九番ノ一 編輯局長
二二四番 六〇九番ノ二 編輯局
三二六番 六〇九番ノ三 守衛
六六〇番 六〇九番ノ四 宿直室
二六一六番 六〇九番ノ五 發送部
右之通り五月一日より變更致候
京城日報社

花吹雪 (十六)

大阪　中谷青霞

「主税之助様、お懐しうござります。」

と縁の障子を半ば開いて、最前から此方をじつと見て立てゐたは、彼の仲萬字の游女唐土であつた。

「まづお入りなされませ。」

と女の童は甲斐々々しく傘をすぼめ、柴折戸開けて寮の内へ導く、主税之助はやがて寮の奥座敷に通された。

「一別以來、まだ染々と禮云ふ折もなうて疎遠申したが、此程はいかう雜作をかけたと了俊殿も申してゐやつた、唐土どの過分でご儀なうお歸りやつたか。」

「あの揚は何うやら事なうお歸りの様子でござりました、なれど此方の往後のお入りが心元なうて、妾は今に心地すぐれませぬ、してお身様には何れへのお越し……。」

「少し誹諧の儀につき頼し申したい事ござつて、この先きの院におはす師の老僧を訪づれての歸るさ見返りの所化僧に別れると間なうこの雨、祠の軒に彳むだを、圖らずも女の童に誘はれてこの仕儀、してお身は何故の寮住居。」

「商廓と申す程はござりませねど、ざつた、なれど其際の思はぬ紛紜にお身も嘸胸痛うあつたでござらう。」

と主税之助は靜かに勸めの辭につく。

「申し遲れて何とお答への言葉もござりませぬ、思はぬ事より何彼と御存じなきお身樣はじめ了俊様まで迷惑をおかけ申したも、皆妾が至らぬ故、申譯がござりませぬ、お許し遊ばして下さりませ。」

と唐土は優やかに頭を下げた、兵庫の束ぬ髪、やゝ亂れて頸にかゝつた狀も美くしく、藍あるにや座敷着にはあらぬ匹田鹿の子に櫻の模様の詰め小袖、きりゝとした姿も艶に婀かしい。

「なんの某等は事なう歸つたれば仔細はないなれど、興もない折節飛んでもない花吹雪でござつた、お身には恙なう、又二人の衆もあの夜よりいかう頭痛がして……ほゝそればかりでもござりませぬ、思ふ儘にもならぬ浮世を觀じての寮住居、思ひが届いたか圖らずの御見、盡きせぬ御縁の御身様……妾が病氣は何が原因ぢやと思召しまする。」

と唐土はやゝ顔を赤うして云ふ。

「それを何として某が知り申さう、解らねばこそ尋ねてゐるのではござらぬか。」

「お解りなさらねば可うござります、なれば今日はお歸途の路すがらお引止めは罪ともござりますまい、妾は徒然の折から愛はあのやうな嵐も吹込みませぬ、廓を離れた萬字の寮、ゆるりと遊ばして下さりませ。」

「いや、左様長座もなるまい、少し雨が霽つたれば……。」

「いねさう早うはお返し申しませぬ、妾が胸のうち……身の上など物語つてお力になりたい事もござりますれば……。」

と唐土は次の室を回顧ると、何時の間に調じたか甲斐々々しく杯盤酒肴を主税之助の前に持ち出でた。

「其儀ならば此程の折衝、氏ない眼顔に饗いた女の童は、一度は辭ねてもお身とも見ねぬ狀の、さゝ物語つてお聞かしやれ。」

と思はず進むる膝、女の童はそつと退いて。

「ほゝゝまづ一獻召してからゆるりとになされませ。」

日報俳壇

春季雜詠

鳥巢くふ梢に響く人語かな　山翠樹
籠の鳥が巢鳥見る妬み心かな　同
店頭の陳列棚や玉椿　同
庭筵して遊ぶ兒に鳴く巢鳥　同
甍照る山門の晴れや木蓮花　同
爐別れの曉寒き宿直かな　同
死片付て硯を掘るや日永人　同
ほろ聽う聽ふ日永の紡ぎ唄　同
爐別お挨り染めたる机邊哉　同
日の永き窓に油斷の暮鳥哉　同
門を出て冠ろ奥笠や芸霞　綠童
接木する我に媚び囀く雀かな　同
暦居を畑に掘る兒や春の風　同
新婦嬬朝夫鳥七や春の風　鐵臨
記念植樹の苗浸しけり春の水　同
お藥風に籠編む丘の一家哉　柴光
如月の障子に響く午砲かな　同
貝負ふて砂潛る山や春の水　偏仁
船窓に舳を打つ島の緋桃かな　織朗

「春燈吟」　其の二十一

連翹に砂降り風となりにけり　背眼子
連翹の葉のみとなりて雨明かし　同
障子開けば連翹に遠く街家哉　健人
人住まねば家の古さや連翹花　同

同　たまゝ雨石段や連翹花　田打子
連翹を散らすはいつも雀哉　征寶子
(釜山より東京の背眼子を迎へて)

新刊紹介 (到着順)

▲良民(四月號) 五錢、東京麴町區平河町五の三六良民社
▲黑白(五月號) 十錢、東京々橋區築地町三の一五黑白社
▲自由評論(五月號) 十五錢、東京赤坂田町七の一三其社
▲帝國農民報(八の四) 十二錢、東京赤坂溜池町一帝國農會
▲國民道徳(一〇七) 十三錢、東京芝琴平町三其會
▲市町村雜誌(二九三) 十三錢、東京芝田村町六其社
▲徳島縣人(創刊號) 二十錢、大阪南區内安堂寺町通同雜誌社
▲報徳(八の四) 六錢、鹿兒島市山下町鹿兒島報徳會事務所
▲電氣界(一二五) 二十五錢、大阪北區若松町二六電界社
▲朝鮮遞信協會雜誌(四號) 十二錢、京城光化門通遞信局内朝鮮遞信協會

讀者の領分

京城水道が拡ィ足で制限給水を行はれる事は已むを得ぬ事であるが午前五時より午六時迄通水と云ふ事は我々日に星を頂いて出で夕に月を踏んで歸る程の勞働者はそれも留守居の家族あれば又たしも獨身自炊生活者は疲れて歸つても一つ洗ふ事も出來ず温い料理一つ拵へる事も出來ぬ現狀にある水汲掛も方でも今少し何うぞ吾人の境遇に同情し少くも午前五時より正午迄午後五六時より十時乃至十二時迄位の通水とせられん事を望む(漢江通赤貧生在京城府)▲先月投書欄にて拜見せし如く京城府の町總代は今少し人格の高き者を選任せしめられ度し我都府[illegible]以上に賦課されてゐる斯の如きは甚て一般に不正行爲を以て脱税せしむる動機を作るものである(正直生)▲明治町交番所の前へ一通りならぬ迷惑をかけて居りましたが昨日司居の勇み兄さんに油を搾られてゐたのは痛快であつた(近所迷惑生)

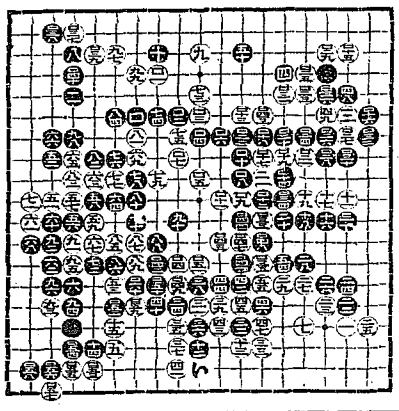
碁戰

十番碁第九局の(完)

三段 山平善氏
二子 大久保雅彦氏

●一四一	チの十五	イ
○一四二	ナの十五	ロ
●一四三	トの十六	ハ
○一四四	チの十一	ニ
●一四五	リの十二	ホ
○一四六	ナの十三	ヘ
●一四七	チの十二	ト
○一四八	トの十二	チ
●一四九	ルの十四	リ
○一五〇	チの十四	ヌ
●一五一	ヌの十三	ル
○一五二	カの十五	ナ
●一五三	ヨの十八	ア
○一五四	タの十七	カ
●一五五	タの十六	ヨ
○一五六	レの十八	タ
●一五七	レの十九	レ
○一五八	ソの十八	ソ
●一五九	ツの十五	ツ
○一六〇	ツの十四	

黑七目勝



講評 ▲黑十は十一に夾みたし▲黑十六は三一に飛んで十四と尖の頂けたる意志を繼承し傍ら右側の打込を狙ふ可し▲黑二二の頂けは早し□三八に飛んで自家の發展力を擴大すると同時に遊かし十二の孤軍を援護せざる可からず▲白四一惡しい印に制ねて取ズ可し▲黑四八の尖頂けは打たざるに如かず此處は種々打込の手ある興味多き所なれば暫く此儘に乗置きて五一の大場を占領す可き機なり▲六七惡し打たざるに如かず▲黑七十大に善し▲白七一は事小なり八九に打たざる可からず今や中原の戰局酣なるに際して左隅に寄直し徒らに無用の防備を事として爲めに後手を取るに至りイは戰略の大本を誤るもの此一著こそ實に全局の敗因なりと云ふも過言に非ず▲白七〇は無理なり七九に尖み出づ可き所なれども五九、六七の種子石を捕獲されては大勢既に面白からずと悟りたるを以て非常手段を斷行したるに黑能く其弱點を看破し強硬主義を執りて上六と頂軾し善戰して勝利を制し得たり

下關期米

二十九日後場 (正米出廻り尚ほ減退せし為め[illegible]) 當限 中限 先限

大阪期米

二十九日後場 △二十九日後場 ▲當限寄付 ▲中限寄付
九錢と四錢高に寄付十錢と幾ね七錢と押し八錢後七八錢まり八九錢を持合ひ八錢と打止めたり ▲後場當中出來不申

二十九日の六月限 寄付 止 〆 高値 安値

女子の本分

▲▲生活費を節約せんとせば速に料理を研究せられよ

拾萬部に限り『パン製造法』無代進呈

女子の本分は婦道を修め、家事に專らなるにあり。茶の湯、生花、音樂等の如きは、趣味を向上せしむるに必要ならん、更に肝要なるは、家庭料理を研究し、禮儀作法を習得するにあり。女子にして此の心得無くば「如何に趣味の向上に努むるも遂に實務的婦人たる能はず」して女子の本分を盡し難かるべし。殊に食料品空前の高價を示しつゝある今日、眞に合理的の安價生活を實行して生活費の節約を計るには、是非共料理を研究せざる可らず。然らば如何にせば最も容易に料理に精通し、禮儀作法を習得し得るやと云ふに、

板垣伯爵夫人 は此の點に留意し、夙に東京割烹講習會を設立し、同所より「家庭料理講義錄」を發行し、斯界の專門大家を聘して、料理及び禮儀作法を講義せしめ、我が國の家庭の婦人をして、居ながらに料理及び禮儀作法に通ぜしめんとしつゝあれば、同會に入會して、其「家庭料理講義錄」の配附を受くるが、最も早道なるべし。今左に其内容の大略を記述せん。

日本料理科 には日本固有の儀式料理▲本膳料理▲各種會席料理▲四季毎日の獻立▲季節物應用の惣菜料理▲晩酌料理▲御席料理▲辨當料理等。

西洋料理科 には正餐の獻立及び中等料理法▲略餐の獻立及び料理法▲獸鳥魚類料理法▲野菜料理法▲各國料理▲日本人向の料理法▲菓子各種▲西洋食品の調合せ品の製法▲珈琲紅茶の入方等に至るまで西洋料理の一切を講義す。

支那料理科 支那料理は世界各國の料理中最も複雑にして且つ進歩せる料理なり。本項にては此の支那料理を詳細に講義す。

禮儀作法科 には日常の禮儀▲拜儀の禮▲賓主の禮▲祝事慶弔等の日本禮式を始めとして、西洋禮儀作法▲日本食禮法▲西洋食卓法等禮儀作法の一切を講義す。

和洋菓子科 には實用を主として、家庭用菓子、子供向きの菓子等の簡易なるものより、高尚優美なるものに至るまで懇切に講義す。

比類なき特長 同講義錄は同會が苦心研究の結果世に見るべからざる種々の特長を有するも、就中、其の著しき特長は、其の記事が悉く實習の結果たる點にあり。されば其の記事明確にして、從來世に流布せる杜撰なるものと全く選を異にするは勿論、文章亦平易、附するに總振假名を以てしたれば一讀何人も容易に了解するを得べし。

其の他 年中行事▲家庭衛生▲家庭用の鑛物、織物▲老人、小兒、病人の食物、調理法▲通俗化學、各種食品の研究、名流の談話等をも毎號掲載しあれば、眞に實益と趣味とを具備せる婦人必讀の講義錄と云ふべし。

新學期開始 同會は目下新學期を開始し、會員の大募集中にて此の際入會する者には種々の特典あれば、今が入會の好機會なり。會費は一箇月分金五十五錢、三箇月分金一圓、六箇月分金一圓九十五錢、一箇年分金三圓六十錢。

入會手續 は極めて簡單にて「ハガキ」に「講義錄送れ」と書いて申込めば、直ちに會員として送本し、會費は毎月送本後其の地の郵便局より集金に行く故何の手數も無し。

大特典有り 同會は十周年記念として、此の際の入會者に限り入會金を免除し、「料理必携」一部進呈し、尚ほ會費六箇月分前納者には「家庭寶典」を呈し、一箇年分前納者には「記念メタル」及び「最新パン製造法」一部を呈す。

米價半減の寶典 前記の「最新パン製造法」は同會講師の高著にて、子爵田尻稻次郎博士及び宮里[illegible]五郎先生の賞讃を受け且つパン製造の寶典、安價生活の指針として出版以來、洶く好評を博せるものなるが、此際の新入會員拾萬人に限り無代提供す。

□**見本無代進呈** 見本入用の方は、京城日報新聞に依る旨御申越あれば、同會より見本を無代進呈すべし。

東京市本郷區[illegible]町　東京割烹講習會　振替口座東京一九四一〇番　電話小石川二六四二番

(直に申込まるべし)

▲▲新學期開始 會員大募集中 十周年記念大特典有り

資本金壹千萬圓　頭取 安田善三郎

株式會社 百三十銀行京城支店

京城本町壹丁目　電話番號五八番　振替貯金京城一一九四三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

コールタール

京城電氣會社製　特約販賣　龍山漢江通り八　電話四九番　金物商 島田忠作商店

謹告

謹啓時下春暖の候各位益々御隆盛の段奉大賀候毎々御引立を蒙り難有御禮申上候陳者今回吾等京城金物商組合員中左記の者申合毎月一日定期休業致事に決議仕候就ては來る五月一日より實行可致候條何卒御承諾置被下度此段謹告仕候

=(いろは順)=

京城本町一丁目	土木建築金物商	井原京城支店
同 本町一丁目	金物雜貨商	橋口卯作商店
同南大門通二丁目	ペンキ器械商	堀田又京城支店
同南大門通四丁目	鐵鋼商	徳本京城支店
同南大門通五丁目	機械工具商	中村幸商店
同 本町二丁目	金物御商	釘本藤次郎本店
同南大門通二丁目	土工具商	益永敏一商店
同南大門通三丁目	銅鐵商	福田又京城支店
同 本町三丁目	土木建築金物商	近藤安吉商店
同 本町一丁目	土工建築金物商	佐藤半次郎商店
同南大門通二丁目	鐵機械商	佐野彦藏商店
同南大門通二丁目	土木機械商	(合資會社)南方商店
同南大門通五丁目	建築金物商	白神京城支店
		毛利辰二郎商店

難病者の福音 哲理治療開始

精神哲學の原理に則り諸種の疾病を治療す如何なる難病者も試みよ 斷定せし難病重患も全快せし實例あり

京城府明治町二丁目小川旅館方　健全哲學大學朝鮮分館長　江藤旭洲

○治療時間 毎日午前八時より午後九時迄
○治療料 前納金一回金五十錢 一週間金三圓 一ヶ月金拾圓

百圓進呈 りん病 ばい毒　帝國醫科大學病院 [illegible]
大阪有田 にせ物と好商 通賣でも僞造する惡奸商ある世の中だから[illegible]
南大門外 大阪ドラッグ商會 黄金町三丁目 大阪ドラッグ商會
大阪三休橋ドラッグ　京城南大門外停車場通

龍山等各地に寄附有御注意

日本郵船出帆 (仁川出帆)

大連行 天津行　相模丸 五月二十日　三河丸 五月十日　高砂丸 四月三十日　正午出帆
仁川海岸町十番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

大阪行 神代丸 四月 日後四時　秀吉丸 四月 日後四時　君代丸 五月五日後四時　大有丸 五月八日後四時
仁川海岸通 [illegible] 回漕店

共同汽船仁川出帆

大連行 共同丸 五月九日午後八時 五月十日午前
仁川代理店 田口回漕店　本町四丁目

朝鮮郵船出帆

平壤丸 五月六日 清津發
敦賀行 清津發 城津
浦汐行 山陽丸 四月三十日 釜山 五月二日 元山發
雄基行 忠清丸 五月五日 五月八日 五月十四日 釜山發 元山發
元山雄基線 穩城丸 五月二日 元山發
大阪行 平安丸 五月三日 元山發
門司行 那山丸 五月六日 五月九日 元山發 釜山發
金剛山遊覽便 丸 月 日 元山發
濟州島行 昌平丸 五月五日 釜山發
釜山浦項線 江陵丸 襄陽丸 毎日釜山、浦項發
濟州島行 濟州丸 木浦發
東廻 西廻 慶興丸 公州丸 五月六日 五月三日 木浦發
釜山 莞島 群山線 釜山丸 五月 日 木浦發
木浦麗水線 順天丸 五月二日 木浦發
多島行 慶興丸 五月二日 木浦發
木浦行 慶寶丸 五月四日 仁川發
鎭南浦行 錦江丸 五月一日 仁川發
海州行 商陽丸 毎日一回 仁川 海州發
青島行 利州丸 五月一日 仁川發
鎭南浦大連直行線 宗信丸 五月八日 仁川發

本社 京城南大門通(電話一九五二、一二三)
釜山港 佐藤町 元山港 海岸通 仁川港代理店 木浦港代理店 京城荷客取扱店
釜山支店 元山出張所 堀回漕部 小野回漕部
京城南大門驛前 松原運送店

富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢